

江東区版・放課後子どもプラン

江東区教育委員会
平成 21 年 10 月

目 次

はじめに	1
江東区の放課後支援事業の現状と課題	
(1) こどもの状況	2
(2) 放課後支援事業の現状と課題	3
江東区版・放課後子どもプランの基本的な考え方	
(1) 基本理念	5
(2) 基本方針	5
(3) プランの位置づけ	6
具体的なプランの内容	
(1) プランイメージ	7
(2) 事業形態	7
(3) 江東区独自のプランづくり	10
(4) 施設管理等のあり方	11
年次計画	12
推進にあたって	
放課後子どもプラン推進委員会の設置	12
今後の課題	13
資料	14

はじめに

近年、核家族化の一層の進行、地域のつながりの希薄化、都市化による子どもたちの遊びや体験の場の不足など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しています。また、子どもたちを対象にした凶悪な犯罪の多発や、共働き家庭・一人親家庭の増加などを背景に、放課後の時間帯や学校のない日に子どもたちが安心して過ごすことのできる場所の確保が強く求められています。

こうした状況の中で、国は、文部科学省と厚生労働省が連携し、放課後等の子どもたちの安全で健やかな居場所を確保するため、平成19年度から「放課後子どもプラン」を創設しました。

この「放課後子どもプラン」(以下「プラン」という。)では、文部科学省所管の「放課後子ども教室推進事業*1」と、厚生労働省所管の「放課後児童健全育成事業*2」を一体的あるいは連携して実施することとされており、各区市町村に対してプランの実施を図るための事業計画の策定に努めるよう求めています。

江東区では、国の動向を踏まえ、また、近年の人口急増による子どもの数の増加に伴い、総合的な放課後支援の需要の高まりを受け、平成20年10月、平成21年度に「江東区版・放課後子どもプラン」を策定し、小学校での『学童クラブ機能を取り入れたげんきっず事業(放課後子ども教室と学童クラブとの連携・一体化事業)』を、全校で実施する方針を発表しました。

「江東区版・放課後子どもプラン」の策定にあたり、平成21年6月に、げんきっず、学童クラブ事業を利用する児童の保護者を対象とするアンケートを行い、それぞれの事業へのニーズを調査しました。また、両事業の利用児童からもアンケートを行いました。さらに、「江東区放課後子どもプラン推進委員会」を設置して関係団体の代表の方々からプランに対しご意見をいただくとともに、パブリックコメントを実施し、広く区民の皆様からのご意見をうかがった上で策定することといたしました。

*1 放課後子ども教室推進事業(本区での愛称は「げんきっず」)

すべての子どもを対象として、安全・安心な活動場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進する事業

*2 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)

共働き家庭など留守家庭の概ね10歳未満の児童(小学1~3年生)に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図る事業

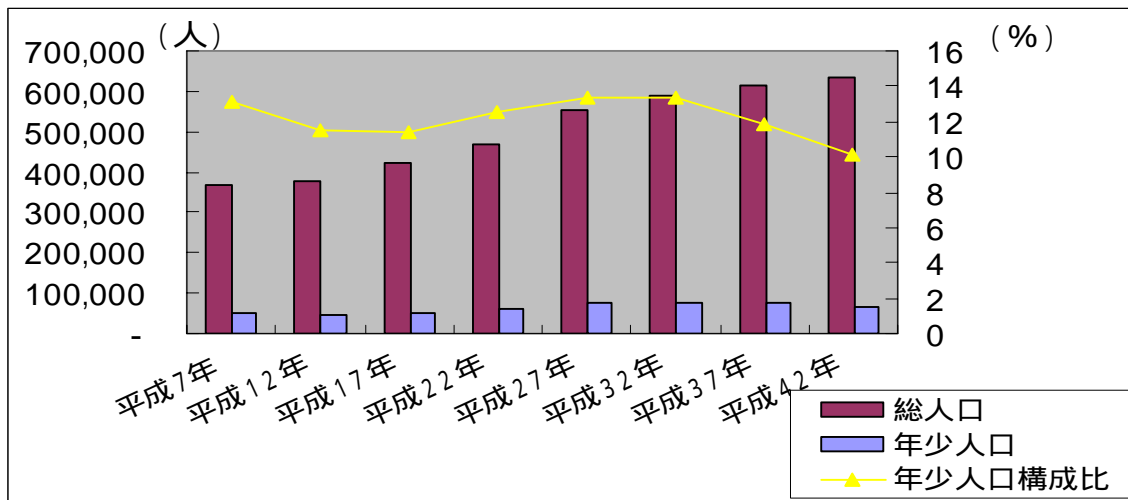
江東区の放課後支援事業の現状と課題

(1) こどもの状況

江東区の将来人口推計(総人口と年少人口)

平成20年3月に江東区が実施した将来人口推計では、平成32年には58万人を超える見通しとなっています。

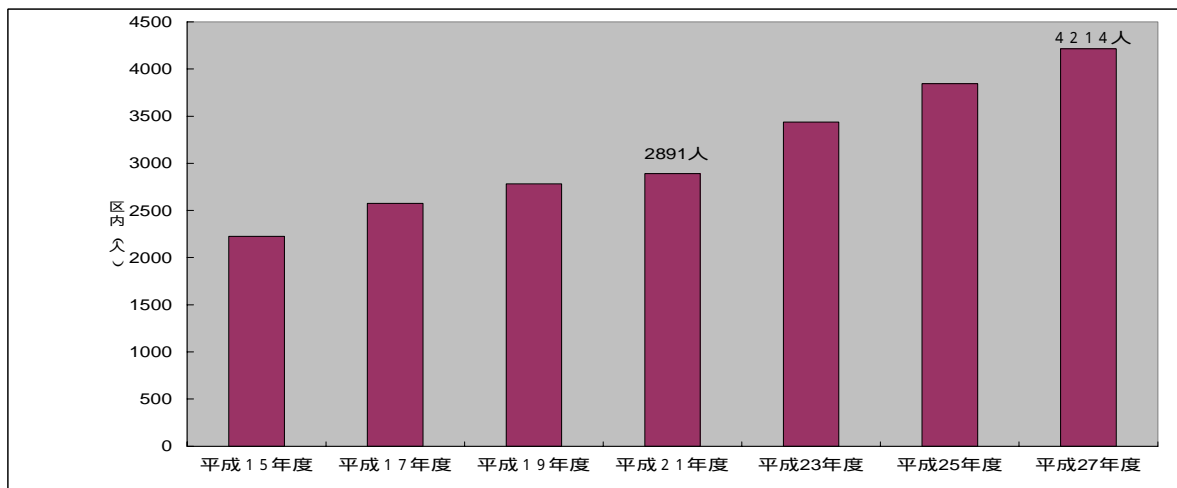
年少人口(0~14歳)については、平成32年の7万8千人をピークとして以後は減少に転じると推計されています。



「江東区の将来人口の推計について」(平成20年3月) 22年度以降は推計

学童登録児童数の推移

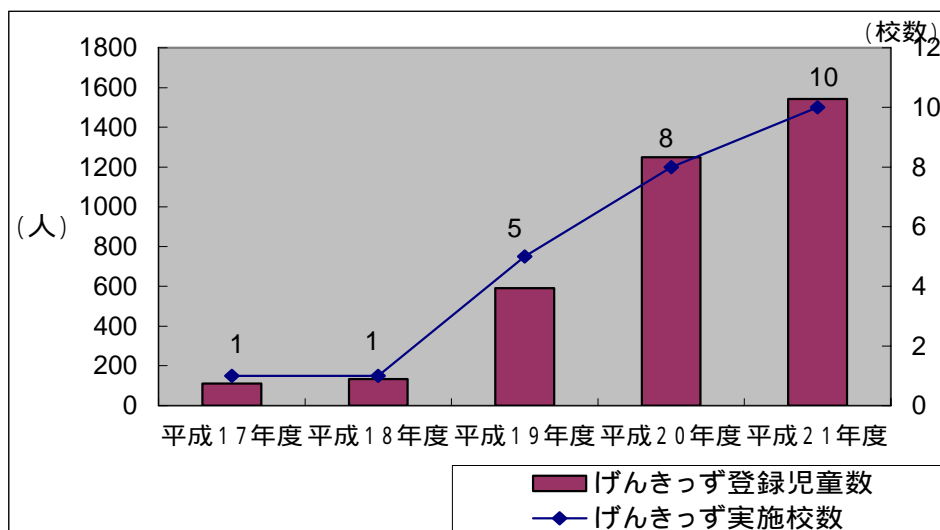
近年、共働き家庭の一般化等により学童クラブの需要が高まっています。本区では、平成15年度から学童クラブ待機児童ゼロを続けていますが、大規模なマンション建設が続いている地域では、転入者の増加により学童クラブの利用希望者が利用可能人数を上回る恐れがあります。



平成23年度以降は推計

放課後子ども教室登録児童数の推移

平成 17 年度、八名川小学校において、放課後子ども教室の前身である『げんきっず八名川』が開始されました。平成 19 年度は 5 校、20 年度は 8 校、21 年度からは 10 校で実施しています。



(2) 放課後支援事業の現状と課題

放課後子ども教室事業の現状と課題

ア 現状

当該小学校のすべてのこどもたちの安全で安心な居場所の提供を目的として 10 校で放課後子ども教室事業『げんきっず』を実施し、1,615 名(6 月 1 日現在)の児童が登録しています。平成 21 年 6 月に実施したアンケートでは、7 割近い家庭が、参加理由として「学校の中で活動するので安心だから」としています。

指導員が、学校で放課後に使用していないスペースでの指導、学習・遊びの補助を行っています。

イ 課題

年次計画による全校での実施が必要です。

現在 3 種類ある『げんきっず』の事業形態(直営方式による事業、公設民営方式による事業、基本登録・延長登録方式による事業)の整理が必要です。

学童クラブ事業の現状と課題

ア 現状

学童クラブは、保護者の就労または疾病等により、放課後、家庭において適切な保護を受けられない小学生(1~3 年生)を対象に、その健全育成を図るため、遊びや生活の場を提供する事業です。45 施設があり、2,891 名(4 月 1 日現在)が在籍しています。

平成 15 年度から待機児童ゼロを継続しています。

イ 課題

人口急増に伴う対策が必要です。

学童クラブ需要に応え、クラブが大規模化している状況が生じており、その対策が必要です。

げんきっずの実施に伴い、利用児童が減少している学童クラブへの対応が必要です。

児童館等事業の現状と課題

ア 現状

児童館は、地域のこどもたちの余暇活動の拠点として、健全な遊びの場を提供する施設です。乳幼児と保護者には親子のふれあいや友達づくり、子育ての情報交換や悩みの相談などを行っています。

小・中学生には、こどもたちの好みや年齢に応じた活動を通して、誰もが主人公になって遊び、仲間をつくり、豊かな経験をすることができるよう援助しています。19館で年間約55万人と多くの利用があります。

「子育てひろば」事業の充実を図り、乳幼児の利用人数が増加しています。

イ 課題

子育てひろば事業など、地域の子育てに関わる施設との連携が必要です。

放課後子どもプランの実施に伴い、児童館のあり方を再構築する必要があります。

学校開放事業、ウィークエンドスクール・ことう事業、合宿通学事業の現状と課題

ア 現状

学校開放事業では、幼児・児童・生徒の身近でかつ安全な遊び場の確保のために、小学校、関係機関、保護者等による運営委員会により、区立幼稚園、小学校の校庭（園庭）及び施設の開放を行っています。幼稚園4園、小学校38校で実施しています。

ウィークエンドスクール・ことう事業では、児童の自主性・社会性・創造性等を養うことを目的として、地域の方々の方々による運営委員会により、小学校を活用した体験型の講座を実施しています。

合宿通学事業では、小学校4年～6年生の児童が、地区集会所等の地域施設に合宿しながら通学し、異年齢集団による共同生活や地域内での職業体験を行っています。実施校単位に実施校・地域団体・地域住民等による実行委員会を設置し、運営にあたっています。

イ 課題

学校開放事業とウィークエンドスクール・ことう事業について、土曜日の放課後子ども教室との調整が必要です。

江東区版・放課後子どもプランの基本的な考え方

(1)基本理念

こどもたちが、放課後等に安全で安心して過ごすことができる居場所・生活の場を提供します。

(2)基本方針

小学校内(隣接を含む)に、学童クラブ機能を取り入れたげんきっず事業を実施します。この事業は、放課後子ども教室と学童クラブとの連携・一体化事業『江東きっずクラブ』と称します。

『遊び』『学び』『交流』の場を提供します。

学校教育との連携を図る(知・徳・体)とともに、地域・家庭等との連携・協力を進めます。

『江東きっずクラブ』と、ウィークエンドスクール・こうとう事業、学校開放事業、合宿通学事業、児童館事業等とが連携する、江東区版・放課後子どもプランを推進します。

『江東きっずクラブ』では、既存のげんきっず事業、学童クラブ事業と同様の職員配置を行います。

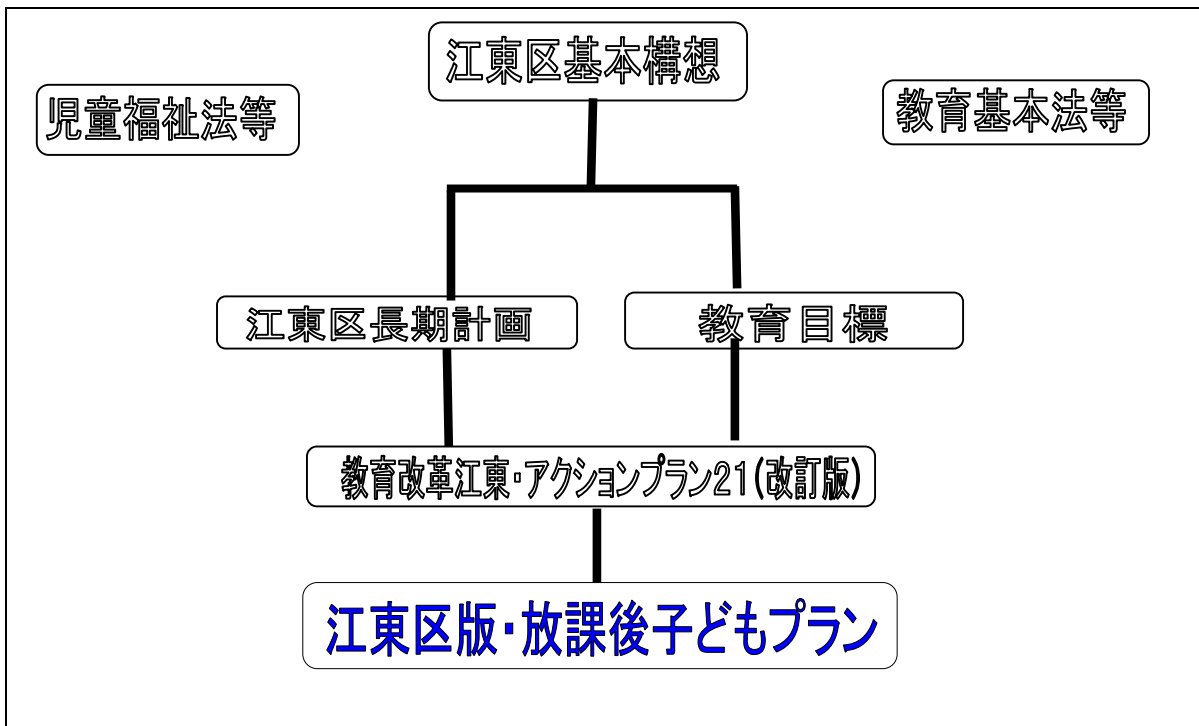
学童クラブ機能・スペースを確保するとともに、育成時間の延長を図ります。

平成22年度から、10ヵ年を目途に計画的に進めます。

当面、既存のげんきっず事業・学童クラブ事業と並行して実施し、学童クラブ待機児童を出さない取り組みを目指します。

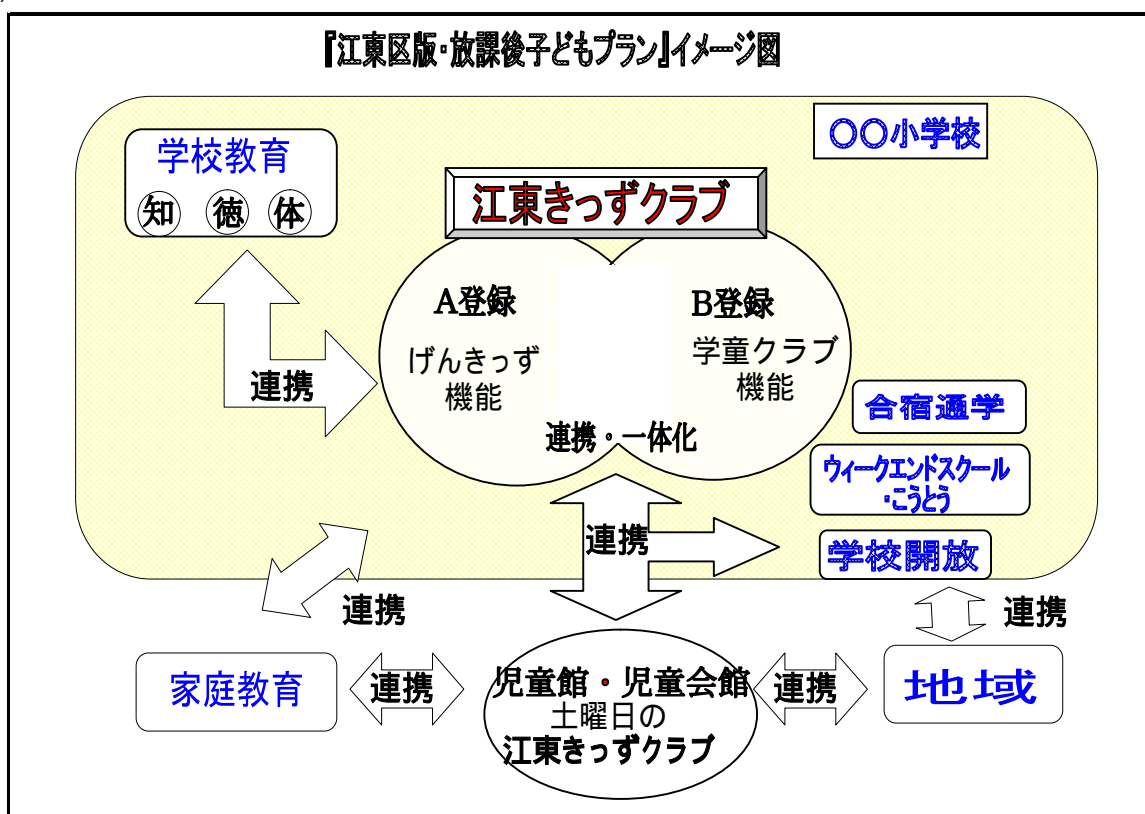
(3) プランの位置づけ

このプランは、江東区の行政運営の基本となる『江東区基本構想』及び『江東区長期計画』に基づき、『教育改革江東・アクションプラン21』の全面改訂を受け、「未来を担うこどもをはぐくむまち」の「健全で安全な社会環境づくり」を目指すものです。



具体的なプランの内容

(1) プランイメージ



(2) 事業形態

江東区版・放課後子どもプラン『江東きっずクラブ』は、すべてのこどもに「遊び」「学び」「交流」の場所を提供するとともに、留守家庭児童で子育てへの援助を希望する家庭のこどもについては、専任の職員とスペースを確保し、おやつを提供するなど、より生活に配慮した取り組みを行います。

対象児童

『A登録』は、当該小学校のすべての児童を対象とします。

『B登録』は、就労等により保護者が家庭にいないことなどにより、子育てへの援助を希望する家庭の小学校1年生から3年生までの児童を対象とします。

利用時間

ア 平日

『A登録』児童の活動時間は、4月から9月までは放課後から17時まで、10月から3月までは16時30分まで（希望する世帯は17時まで）で、保護者の就労状況等により18時まで延長することができます。

『B登録』児童の育成時間は17時まで、保護者の就労状況により19時まで延長することができます。

イ 長期休業日等

『A登録』児童の活動時間は、4月から9月までは8時30分から17時まで、10月から3月までは8時30分から16時30分まで(希望する世帯は17時まで)となります。また、『A登録』延長登録児童は8時30分から18時までとなります。

『B登録』児童の活動時間は、平日は8時30分から17時までで、保護者の就労状況により、19時まで延長することができます。

ウ 土曜日

土曜日は、児童館で『江東きっずクラブ』を実施し、8時30分から17時までとなります。

利用開始日

『A登録』の利用開始日は、日曜日、祝日、年末年始を除く毎日とし、2年生以上は4月1日、1年生については入学式の翌日から利用できます(就労世帯の1年生については、4月1日より受け入れます)。

『B登録』の利用開始日は、日曜日、祝日、年末年始を除く毎日とし、4月1日から受け入れます。

活動スペース

こどもたちが、「遊び・学び・交流」の場として過ごす事業の役割をふまえ、安全・衛生面に配慮し、安心して日々の活動や生活を送ることができるようにするとともに、『B登録』児童に対しては、毎日、長時間生活をすることに配慮します。

活動は、活動時に学校が使用していないスペース(図書室・会議室・多目的ルーム・ランチルーム・体育館・校庭等)を利用します。『B登録』児童には、既存の学童クラブと同様に一人当たり1.5㎡のスペースを確保しますが、学校の収容対策等で確保が困難な場合には、活動時に学校が使用していないスペースを可能な限り固定的にタイムシェアリング(*1)で確保します。

*1 タイムシェアリング：放課後の時間帯、学校が授業等で使用していない教室等を時間で割り振ること

児童の安全確認

『A登録』児童は、あらかじめ参加予定表を提出した上で、当日、参加カードを提出して参加確認を行います。参加予定日に連絡なく欠席した場合は、保護者に確認をとります。

『B登録』児童は、B登録担当職員に連絡帳を提出して参加確認を行います。職員は、連絡帳で保護者からの連絡の有無や児童の様子等を把握します。児童が連絡なく欠席をした場合は、保護者や学校へ確認を行います。

帰宅指導について

B登録の18時以降19時までの利用時間延長については、保護者の方等のお迎えをお願いすることで、帰宅時の安全を確保します。A登録・B登録の18時までの帰宅については、登録を問わず、帰宅するエリアごとの集団での帰宅指導を行います。

職員配置

『A登録』は既存の「げんきっず」と、『B登録』は既存の学童クラブと同じ考え方に基づき職員を配置します。障害児等特別な配慮を必要とするこどもには、介助指導員を配置します。

おやつ・長期休業期間等の食事への対応

おやつは、『B登録』児童に提供します。提供時間は17時を目安とし、実費を徴収します。土曜日のおやつ提供は行いませんが、希望者は持参することができます。

長期休業期間や土曜日等の学校休業日の昼食は、弁当持参とします。

事業の保護者負担

『A登録』児童については、登録時に参加費として、年額3,000円と保険料を徴収します。なお、登録時参加費の免除措置については、従前のげんきっずどおりとします。

『B登録』児童については、育成料として18時までの利用については月額4,000円、19時までの利用は月額5,000円、及び保険料を徴収します。なお、減免措置については、従前の学童クラブどおりとします。

『江東きっずクラブ』でのこどもたちの過ごし方

ア 基本時間帯(A登録・B登録)

こどもたちの創意工夫を生かした自由あそびを中心に、A登録・B登録のこどもたちの積極的な交流を図り、遊び・学び・体験等に取り組むことにより、こどもたちの自主性・社会性・創造性を育みます。

学校教育や地域、家庭との連携により、『知・徳・体』に関する取り組みを実施します。

イ 延長時間帯 (A登録の延長登録・B登録)

延長時間帯では、A・B登録の集団ごとに、ゆったりと自由に過ごすほか、学習時間に充てたり、一日のまとめを行うなどして過ごします。

夏季休業期間中の午睡(お昼寝)

夏季休業期間中は、体力、健康維持のため、B登録児童の午睡(お昼寝)の時間と場所を確保します。なお、A登録児童にも、ゆっくり休める場所を確保します。

(3)江東区独自のプランづくり等(知・徳・体等)

宿題+10分学習・10分読書等

『平成21年度江東区学童クラブアンケート』(資料参照)によれば、6割以上の家庭で、こどもたちが宿題を済ませてから遊ぶことを希望しています。げんきっずではすでに実施している毎日の宿題を『江東きっずクラブ』でも継続して取り組むとともに、希望する児童には『10分学習』・『10分読書』等を検討し、こどもたちの『知育』への取り組みの支援を図ります。具体的には、学習プリントの提供、100マス計算や漢字練習などの他、区立図書館との連携により図書の貸し出しを受け、読書への取り組みを検討します。

高学年については放課後の時間も少なく、ゆったりとくつろげる時間を確保することを前提とし、希望する児童に対して、宿題や知育に対する取り組みを行います。

学習教室等

『江東きっずクラブ』では、小学校で実施している『夏休み学習教室』や補習教室等へ、対象児童が積極的に参加できるように配慮します。

また、『夏休み学習教室』や補習教室を実施していない期間または時間帯にプリント等を利用し、『学校サポーター』や『地域人材』を活用した『プラン版・学習教室』『英会話教室』等を検討します。児童向けアンケートでは、自由に遊ぶことを希望しているこどもたちが多いことから、学習教室であっても、こどもたちが自主的に参加し、楽しみながら身につくようなプログラムを検討します。

スポーツ教室等

『平成20年度 全国体力・運動能力調査結果と考察』によると、江東区の児童の体力は、東京都の平均を下回っている部分があると報告されています。また、児童向けアンケートでは、多くのこどもたちがスポーツをすることを望んでいます。

『江東きっずクラブ』では、こどもたちが、小学校の校庭や体育館等を活用し、楽しみながら、体力向上に取り組めるよう学校教育と連携し、「プラン版・スポーツ教室」を検討します。

平日の放課後には 1 時間程度のプログラムを、長期休業日には、ゆとりある時間を活用した日頃体験できない特別プログラムを検討します。

地域の方々やPTA、大学生の協力をお願いするほか、出前児童館を実施するなど、地域人材の活用や関係機関との連携を図ります。

ボランティア体験・あいさつ運動等

学童クラブアンケートでは、52%の家庭で、「あいさつができ、思いやりの心をもてるような、しつけの面からも育成してほしい」としています。『江東きっずクラブ』では、あいさつができ、思いやりの心が持てるよう日常の集団生活の中で考え、『ボランティア体験』『あいさつ運動』等に積極的に取り組みます。

19時までの育成時間延長

「平成20年度 江東区民子育てニーズ調査報告書」では、希望する利用終了時刻について『18時以降～19時未満』という回答が29.9%と最も多く、「平成21年度江東区学童クラブアンケート調査」においても、『19時まで延長できるとよい』という回答が32.3%と多くなっています。このため、B登録の育成時間を19時まで延長し、子育て支援のニーズに応えていきます。

土曜日の事業充実

学童クラブアンケートでは、土曜日開室学童クラブについて、登録希望者の71%が「土曜開室学童クラブの箇所を増やして、利用しやすいようにしてほしい」としています。また、現行げんきっずの土曜日利用児童数も少なく、子どもたちの集団遊び、交流が難しくなっています。

そこで、『江東きっずクラブ』では、子どもたちの休日の活動と交流の機会の拡大を図るため、土曜日の事業を近隣の児童館で実施します。さらに、学校開放事業、ウィークエンドスクール・ことう事業に参加するなど、交流の機会を拡大します。

『江東きっずクラブ』マニュアル作成

現行げんきっず運営マニュアル、げんきっず安全管理指導員のてびき、学童クラブマニュアル（事務手続き、指導手引、年間指導計画、安全対策マニュアル）をもとに、放課後の子どもたちが安全で安心して過ごせる「遊びの場」「生活の場」を提供できるように、「江東きっずクラブ」マニュアルを作成します。

(4) 施設管理等のあり方

『江東きっずクラブ』実施時の施設管理・事業運営については、学校との調整を図りながら、教育委員会が責任を持って行います。

年次計画

『江東きっずクラブ』 実施校	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (31年度)
	4校	5校	5校	5校	5校	45校

計画のある新設校2校を含む。

整備については、10年を目途に、段階的に実施します。

また、現在小学校外にある学童クラブについては、当面、『江東きっずクラブ』と並行して実施します。

<第1ステップ> (前期5年)

(1) 学童クラブ待機児童が予想される小学校

小学校内にげんきっずも学童クラブもなく、学童クラブ待機児童が予想される小学校においては、収容対策を踏まえ、実施します。

(2) 小学校内(隣接を含む)に学童クラブがある18小学校

すでに小学校内に学童クラブのスペースがある13小学校と、小学校に隣接して学童クラブのスペースがある5小学校については、学童クラブ待機児童が予想される小学校から、現在の学童クラブスペースを活用して実施します。

(3) 新設校

<第2ステップ> (後期5年)

その他の小学校

その他の小学校においては、第1ステップの進捗状況を踏まえ、小学校の増改築、学校や保護者の要望等を勘案しながら順次実施します。

現在げんきっず事業を実施している小学校については、小学校の施設状況、げんきっず利用保護者の要望を勘案して、順次移行します。

推進にあたって

放課後子どもプラン推進委員会の設置(別添資料参照)

江東区における放課後子どもプランの策定及び運営についてご意見をいただき、同プランを推進していくことを目的として、『江東区放課後子どもプラン推進委員会』を設置しました。同委員会は、学識経験者、小学校長、連合町会長、民生・児童委員、青少年委員、小学校PTA、放課後子ども教室・学童クラブ関係者などで組織されています。

今後の課題

今後の江東区版・放課後子どもプランについては、放課後子ども教室と学童クラブの連携一体化事業『江東きっずクラブ』の進展に伴う他の放課後支援事業のあり方の検討を含め、総合的な放課後支援事業のあり方を検討する必要があります。教育委員会では、児童指導員、げんきっず指導員等のプロジェクトチームによる検討等を行います。

(1) 児童館事業のあり方について

今後の『江東きっずクラブ』の進捗状況によっては、小学生を主流としていた児童館の午後のあり方について検討する必要が生じてきます。各児童館の地域ニーズやスペースなどの施設条件を考慮しながら、乳幼児子育て支援の充実、中高生の居場所づくりや活動支援の充実について検討します。

(2) 放課後支援事業の今後のあり方について

土曜日の『江東きっずクラブ』を児童館で実施することにより、現在学校で同時に実施されているげんきっず事業と、学校開放事業・ウィークエンドスクール・ことう事業について住み分けができることとなります。

今後は、地域の方々の力でさらに充実した事業を展開するとともに、児童館からも、積極的な利用や、講師の相互派遣など、さらなる連携を検討します。

(3) 学校教育との連携に向けた具体案について

プランの実施にあたっては、学校教育との連携が重要であり、『知・徳・体』に関するプログラム作成など、具体的な連携方法について検討します。

(4) 地域人材の活用等について

事業の運営にあたっては、地域人材の活用が必要不可欠であり、地域とのつながりを重視した事業の展開を検討します。

(5) 事業の検証について

学童クラブ機能を取り入れたげんきっず事業『江東きっずクラブ』実施後の検証を今後も十分に行うとともに、保護者、地域の方々、学校等の関係者からご意見をいただき、よりよいプランのあり方を検討します。

資料

- 1 放課後子ども教室（げんきっず）事業の検証・・・・・・・・・・ 1 5
- 2 平成 20 年度江東区放課後子ども教室（げんきっず）
アンケート調査結果・・・・・・・・・・ 1 8
- 3 平成 21 年度江東区放課後子ども教室（げんきっず）
アンケート調査結果・・・・・・・・・・ 2 4
- 4 平成 21 年度江東区 学童クラブアンケート調査結果・・・・・・・・ 3 0
- 5 学童クラブアンケート調査結果を受けて・・・・・・・・・・ 3 7
- 6 平成 21 年度江東区放課後子ども教室（げんきっず）
児童アンケート調査結果・・・・・・・・・・ 3 9
- 7 放課後子ども教室(げんきっず)児童アンケート
調査結果を受けて・・・・・・・・ 4 2
- 8 平成 21 年度江東区学童クラブ
児童アンケート調査結果・・・・・・・・ 4 3
- 9 学童クラブ児童アンケート調査結果を受けて・・・・・・・・ 4 6
- 1 0 江東区民子育てニーズ調査報告書（抜粋）・・・・・・・・・・ 4 7
- 1 1 『江東きっずクラブ』の事業形態
（げんきっず・学童クラブとの比較）・・・・・・・・ 5 4
- 1 2 『江東きっずクラブ』年間事業計画（案）・・・・・・・・・・ 5 5
- 1 3 児童館利用状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 6
- 1 4 学童クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 7
- 1 5 江東区放課後子どもプラン推進委員会設置要綱・・・・・・・・ 5 8
- 1 6 江東区放課後子どもプラン策定会議設置要綱・・・・・・・・ 6 0

放課後子ども教室(げんきっず)事業の検証

1 げんきっず実施校の状況

げんきっず名	在籍児童数 (5/1現在)a	げんきっず 登録児童数 (6/1現在)b	平日平均参加 児童数(6月)	土曜日平均 参加児童数 (6月)d	午後5時以降 平均参加児童 数(6月)e	登録率(b/a)	平日平均 参加率(c/b)	土曜日平均 参加率(d/b)	午後5時以降 平均参加率 (e/b)	開設年月	運営形態
八名川	284	239	106.8		32.5	84.2%	44.7%		13.6%	H17.4	直営
毛利	222	136	57.2		8.1	61.3%	42.1%	6.0%	H19.4		
平久	416	165	55.1	9.3	1.5	39.7%	33.4%	5.6%	0.9%	H19.10	民間委託
扇橋	334	161	63	10.8	1.3	48.2%	39.1%	6.7%	0.8%	H19.10	
五大	393	137	39.9	7	0.2	34.9%	29.1%	5.1%	0.1%	H20.1	
水神	324	188	90.5	16.8	12.8	58.0%	48.1%	8.9%	6.8%	H20.4	
二大	194	103	45	5	2.3	53.1%	43.7%	4.9%	2.2%	H20.4	
亀高	180	53	30.4	3.8	3.3	29.4%	57.4%	7.2%	6.2%	H20.4	
南央	170	79	36.5	7.3	0.1	46.5%	46.2%	9.2%	0.1%	H21.4	
豊北	684	354	109	16.7	0.5	51.8%	30.8%	4.7%	0.1%	H21.4	
実施校平均	320.1	161.5	63.3	9.6	6.3	50.5%	39.2%	6.2%	3.9%		

2 アンケートを踏まえた検証

(20年度調査：八名川・毛利・平久・扇橋・五大・水神・二大・亀高 計8校
1,077世帯配付 回答数792)

(21年度調査：豊北・南央 計2校 380世帯配付 回答数345)

満足度

20年度調査では約95%、21年度調査では約86%から満足との回答が得られ、保護者からは高く評価をされている。

登録理由

両調査とも、学校の中で活動するので安心、指導員がついているので安心、参加する日を自由に選択できる、の順に回答が多かった。次いで、保護者が就労している、校庭や体育館で体を動かすことができる、の回答が多かった。

保護者は安全面を第一に考えていることがうかがえる。

利用頻度

20年度調査では、週3日、2日、1日以下の順であったが、21年度調査では、1日、3日、2日の順となった。クロス集計をみると、豊北の保護者に週1日の回答が多い。放課後の過ごし方が数多くあり、その選択肢の一つとしてげんきっずをとらえているものと思われる。

延長登録

21年度開設の2校の延長登録者数は、7月1日現在豊北15名、南央2名にとどまり、4月から6月までの3か月間の利用実績（1日平均）も豊北1.27名、南央0.11名に過ぎない。ただし、げんきっずでは現在5時以降の利用については保護者のお迎えを義務づけており、この義務がなくなった時、延長登録を希望する保護者が基本登録者の約2割（豊北17.9%、南央18.8%）存在する。

学童クラブ同様、17時以降の帰りも集団下校とすれば延長登録者数は確実に増えると思われる。

利用時間について

直営2校については、学校休業日においても現行17時までの利用を18時まで延長してほしいとの意見が多い。就労世帯の児童の利用も多いことから、その方向で検討を進める。

また、21年度開設校から17時以降の利用は延長登録の児童のみとしたが、基本登録の児童は暗くなる前に下校することでの安全確保や主体的な生活リズムの確保につながっている。特に10月から3月は原則16時30分での下校になり、帰宅を促す夕焼けチャイムとも整合させている。

土曜日の利用

21年度調査実施校の土曜日利用率は約11%で、86.4%がほとんど利用していないとの回答で、今後もほとんど利用しないとの回答が68.4%であった。20年度実施6校（八名川、毛利は土曜日実施せず）でも、登録に対して約6%の利用実績であった。

土曜日の運営を現行のとおり実施することが望ましいのか、集団による生活や学校開放、児童館事業など他の事業との兼ね合いから検討する必要がある。

運営形態について

現在直営2校、民間委託8校であるが、保護者アンケートをみる限り、げんきっず自体や指導員への満足度に大きな差はない。これまで以上に基本となる運営のあり方を教育委員会が指導することで、今後も民間委託への不安や不信感は生じてこないと考えられる。逆に民間事業者の安定的な人材確保や特色ある事業展開により、げんきっずのより充実した運営に期待するところが大きい。

大規模校での実施について

21年度より開設したげんきっず豊北が、初めて600名を超える児童数をもつ学校での実施であった。日々の参加児童の多さや活動スペースの確保等の課題もあったが、学校側の理解と配慮で活動スペースも確保され、また、指導員の熱意や創意・工夫もあり円滑な運営を続けている。保護者の満足度も高く、今後も学校との良好な関係を保ちつつ、充実した運営を続けていく。

自由意見より

21年度調査において、満足度を尋ねる設問の中で自由意見を記入されている方が約90名おり、そのうち一部に不満と回答されたものがあった。内容は、事前の参加予定表提出の大変さやイベント、外遊びの少なさ、17時以降のお迎えの義務、指導員の対応の悪さなどの指摘であった。

3 総括

- ・現在のところ、げんきっず事業は保護者から概ね高い評価を得ている。その要因として、学校施設を利用しており安全であること、指導員配置が手厚いこと、下校の時間管理を確実にしていることなどが挙げられる。
- ・保護者からはげんきっずを放課後の居場所の一つとして有効に活用している傾向が伺え、利用が少ない土曜日の運営などは今後検討の余地があると思われる。今後、安全・安心な居場所としてだけでなく、様々な活動をとおして児童の成長の場として、より機能させていく必要があり、利用時間の延長、多様な活動メニューの提供など、検討すべきであり、今後の課題と思われる。
- ・保護者の50%近くが、週3日以上放課後自宅にいないことから、げんきっずが学童クラブに代わる役割を一定程度果たしていると思われる。平成21年度実施の豊洲北小学校のような大規模校での実施も踏まえ、学童クラブの待機児童対策の必要がある小学校でも、放課後に学校が使用していないスペースをタイムシェアリング等で確保しながら、学童クラブ機能を取り入れたげんきっず事業を実施することにより、新たな学童クラブ需要に応えていくことを検討する必要がある。

平成20年度江東区放課後子ども教室(げんきっず)アンケート調査結果

1 調査目的

本調査は、放課後子ども教室事業のニーズを把握し、今後の事業展開の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象

平成20年9月の時点で放課後子ども教室に登録している児童の保護者

3 調査方法

アンケート調査表の配付及び回収は、げんきっず指導員が登録児童経由で行った。

4 調査期間

平成20年9月8日(月)から平成20年9月19日(金)まで。ただし、9月末日までに回答があったものを集計対象とした。

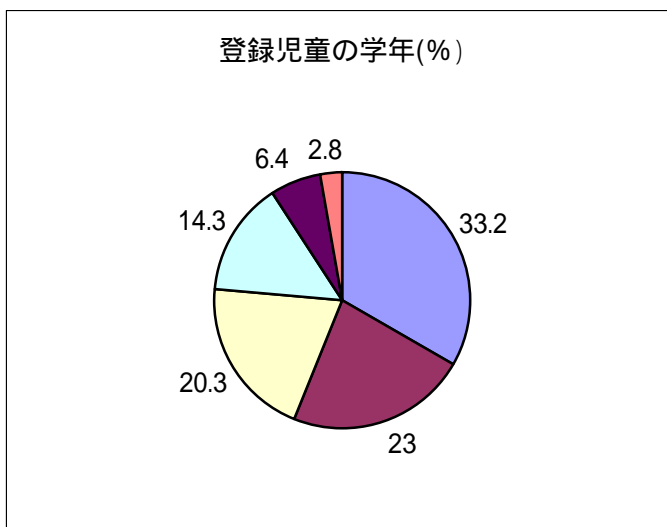
5 回収状況

登録児童のいる1,077世帯数に対して、792通の回答があった(回答率は73.5%)。

<げんきっず登録児童について>

問1 げんきっずに登録しているお子さんの現在の学年に をつけてください。【複数いる場合はすべてに 】

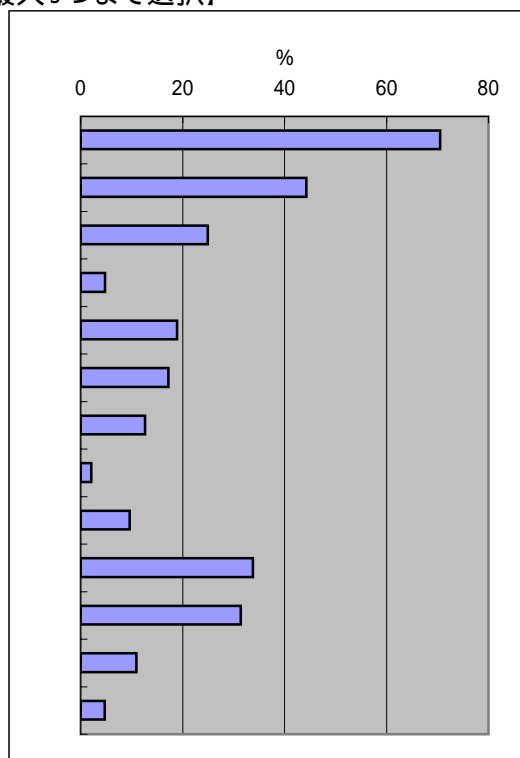
- 1年生 296人(33.2%)
- 2年生 205人(23.0%)
- 3年生 181人(20.3%)
- 4年生 127人(14.3%)
- 5年生 57人(6.4%)
- 6年生 25人(2.8%)



<げんきっずについて>

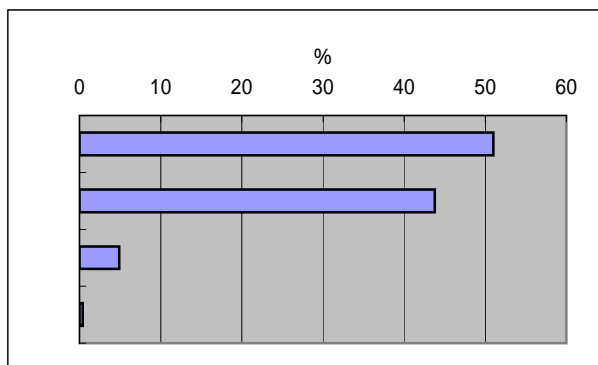
問2 げんきっずに登録した理由を教えてください。【最大3つまで選択】

- 学校の中で活動するので安心だから558(70.5%)
- 指導員がついているので安心だから351(44.3%)
- 校庭や体育館で体を動かすことができるから197(24.9%)
- 工作などの催しがあるから38(4.8%)
- 宿題を終わらせてから遊ぶから150(18.9%)
- 異学年の児童との交流ができるから136(17.2%)
- 友だちが参加しているから100(12.6%)
- 兄弟姉妹と一緒に参加するから17(2.1%)
- 月曜日から金曜日(土曜日)まで参加できるから76(9.6%)
- 参加する日を自由に選択できるから268(33.8%)
- 仕事等で保護者が家にいないから249(31.4%)
- 経済的負担が少ないから86(10.9%)
- その他37(4.7%)



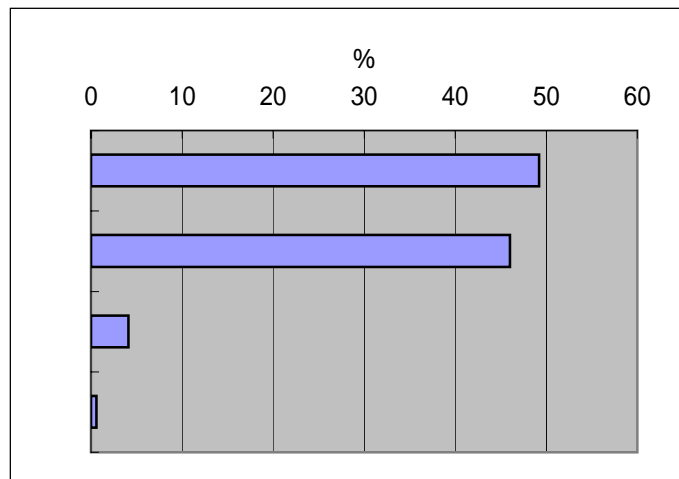
問3 放課後子ども教室(げんきっず)事業について、どのようにお感じですか。【 は1つ】

- 大変満足している。397(51.0%)
- 概ね満足している。341(43.8%)
- 少し不満である。38(4.9%)
- 大変不満である。3(0.4%)



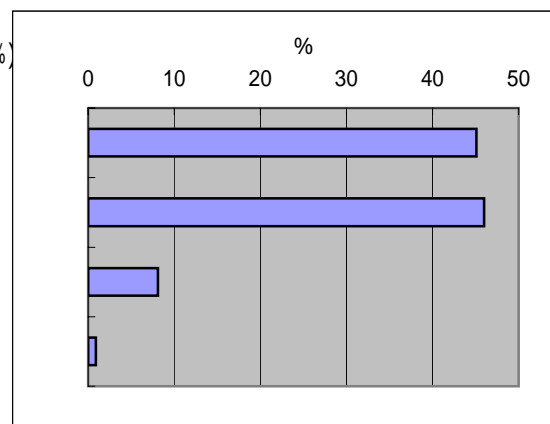
問4 げんきっず指導員の対応について、どのように感じていますか。【 は1つ】

大変満足している。 381(49.2%)
 概ね満足している。 356(46.0%)
 少し不満である。 32(4.1%)
 大変不満である。 5(0.6%)



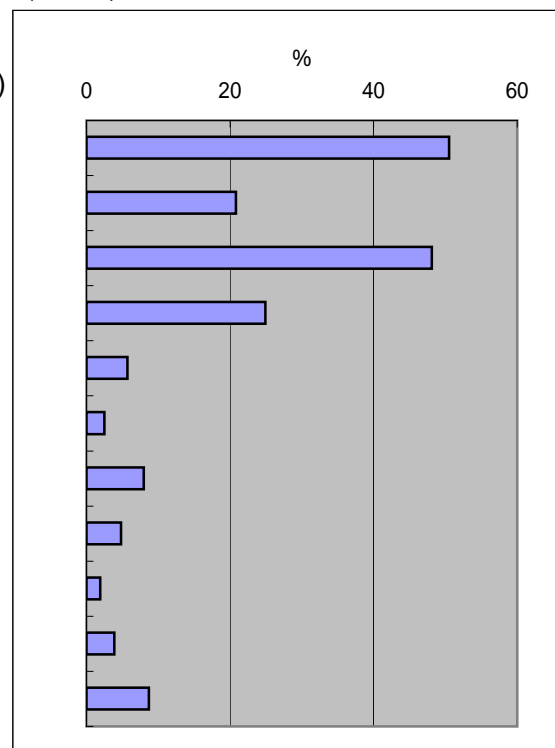
問5 お子さんは、げんきっずでの活動をどのように感じているようですか。【 は1つ】

とても楽しいと感じているようだ。 352(45.1%)
 まあ楽しんでいるようだ。 359(46.0%)
 あまり楽しくなさそうだ。 63(8.1%)
 とてもつまらなそうだ。 7(0.9%)



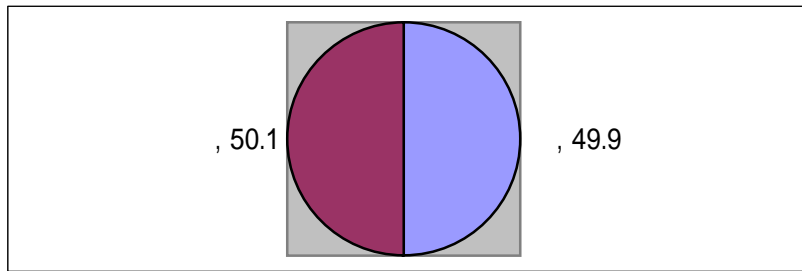
問6 お子さんがそのように感じている理由は、次のうちどれだと思われますか。
 【 は最大2つまで】

校庭や体育館で体を動かすことができるから 400(50.5%)
 工作などの活動があるから 165(20.8%)
 同学年の友だちと遊べるから 381(48.1%)
 異学年の児童との交流ができるから 197(24.9%)
 居心地がいいから 45(5.7%)
 面白い活動が少ないから 20(2.5%)
 友だちがあまり参加しないから 63(8.0%)
 学校の外で遊ぶほうが楽しいから 38(4.8%)
 遊び道具が十分でないから 15(1.9%)
 飽きてしまったから 31(3.9%)
 その他 69(8.7%)



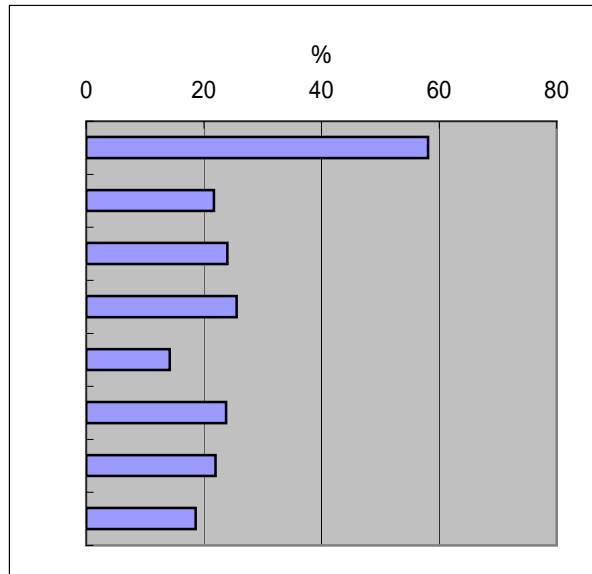
問7 げんきっずに参加してから、お子さんの様子が変わったと感じることはありますか。【 は1つ】

ある 387(49.9%)
 ない 389(50.1%)



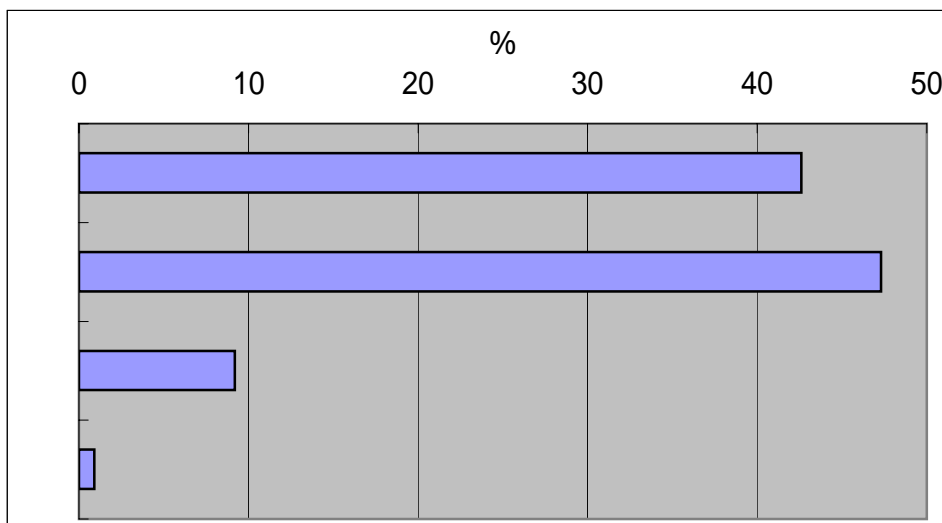
問8 問7で に をつけた方に伺います。お子さんの様子は、どのような点で変わったと感じますか。【 は最大3つ】

友だちが増えた。225(58.1%)
 宿題を忘れなくなった。84(21.7%)
 学校に行くのを楽しみにするようになった。93(24.0%)
 テレビゲームをしたり漫画を読んだりすることが少なくなった。99(25.6%)
 以前よりも活発で明るくなった。55(14.2%)
 夕食を良く食べるようになった。92(23.8%)
 夜、よく眠るようになった。85(22.0%)
 その他72(18.6%)



問9 お子さんは、今後もげんきっずに参加したいと思っていますか。【 は1つ】

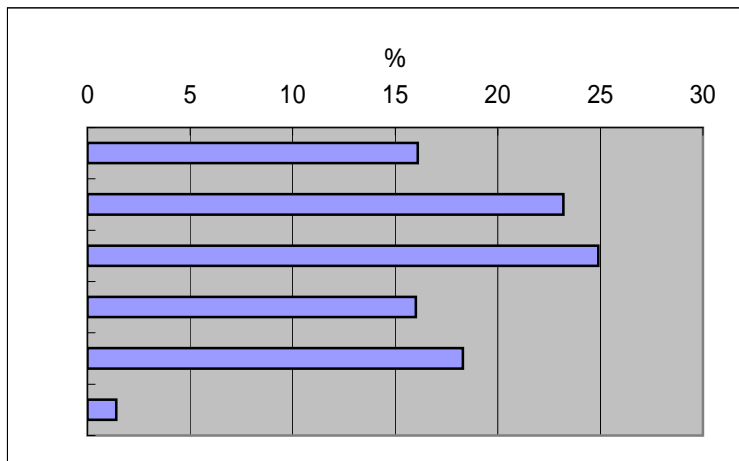
積極的に参加したいと思っているようだ。329(42.6%)
 参加してもいいと思っているようだ。365(47.3%)
 あまり参加したくないと思っているようだ。71(9.2%)
 もう参加したくないと思っているようだ。7(0.9%)



<げんきっずへの参加状況等について>

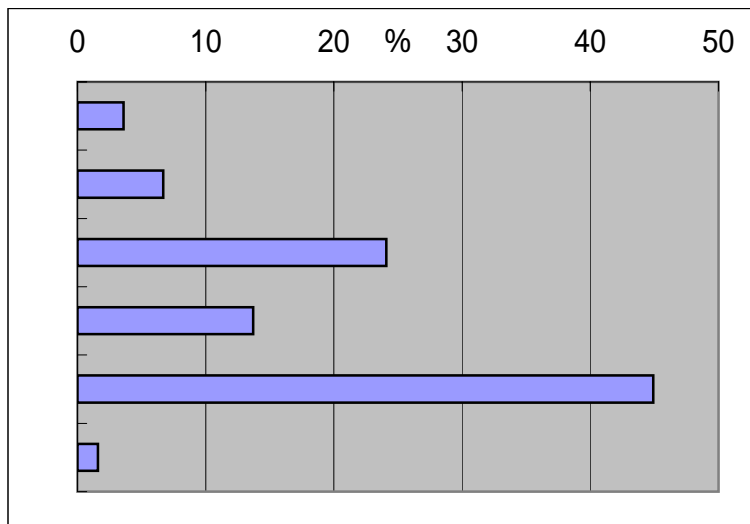
問10 1週間で平均何日放課後子ども教室に参加していますか。【 は1つ】

1日以下	123(16.1%)
2日	177(23.2%)
3日	190(24.9%)
4日	122(16.0%)
5日	140(18.3%)
6日	11 (1.4%)



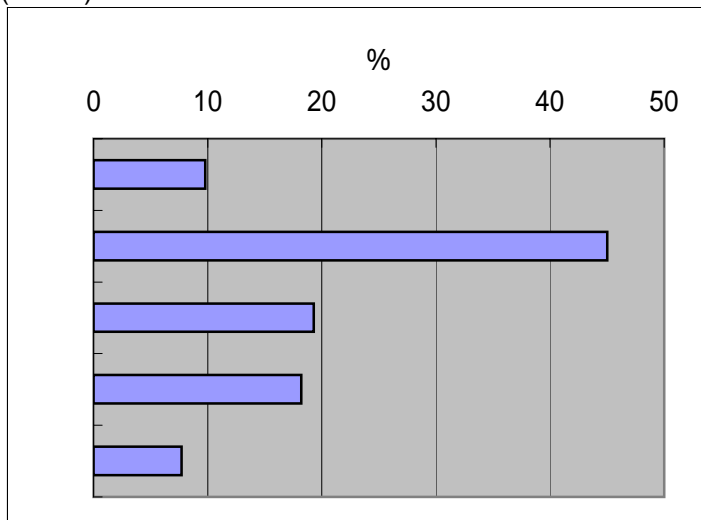
問11 平日の下校時間で一番多いのは、次のうちどれですか。【 は1つ】

3時まで	28(3.6%)
3時30分	52(6.7%)
4時	186(24.1%)
4時30分	106(13.7%)
5時	346(44.9%)
5時30分	12(1.6%)



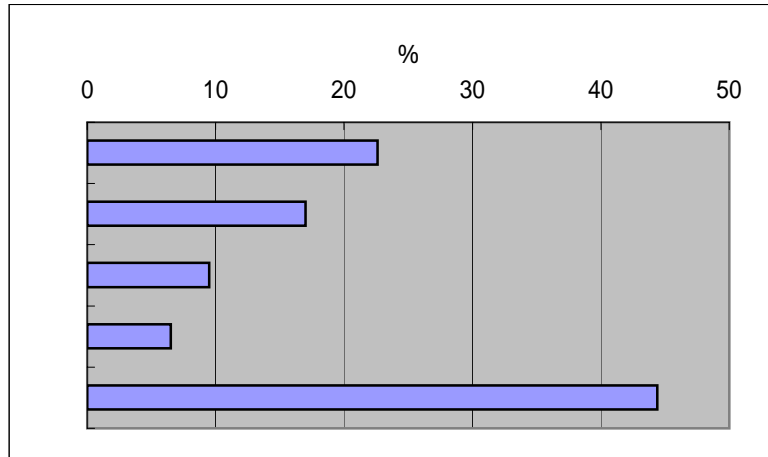
問12 放課後、げんきっずに参加しない日は、お子さんは何をなさっていますか。
【 は主なものに1つ。】

学習塾に通っている。	77(9.8%)
書道・英会話・水泳教室などの習い事をしている。	352(45.0%)
家にいる。	151(19.3%)
友達と家の外で遊んでいる。	142(18.2%)
その他	60(7.7%)



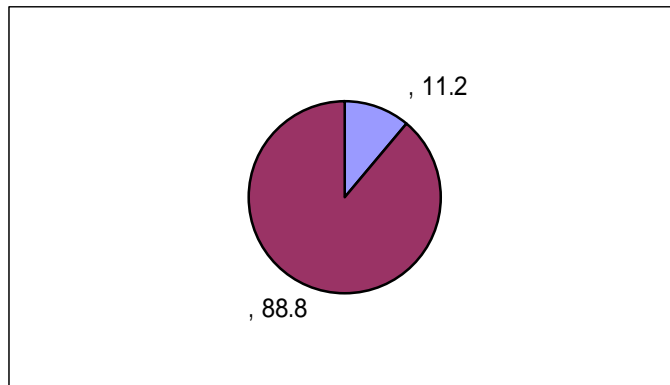
問13 お子さんが放課後すぐに帰宅した場合、保護者の方は週平均で何日ご自宅にいらっしゃいますか。【 は1つ】

1日以下	185(22.6%)
2日	139(17.0%)
3日	78(9.5%)
4日	53(6.5%)
5日	364(44.4%)



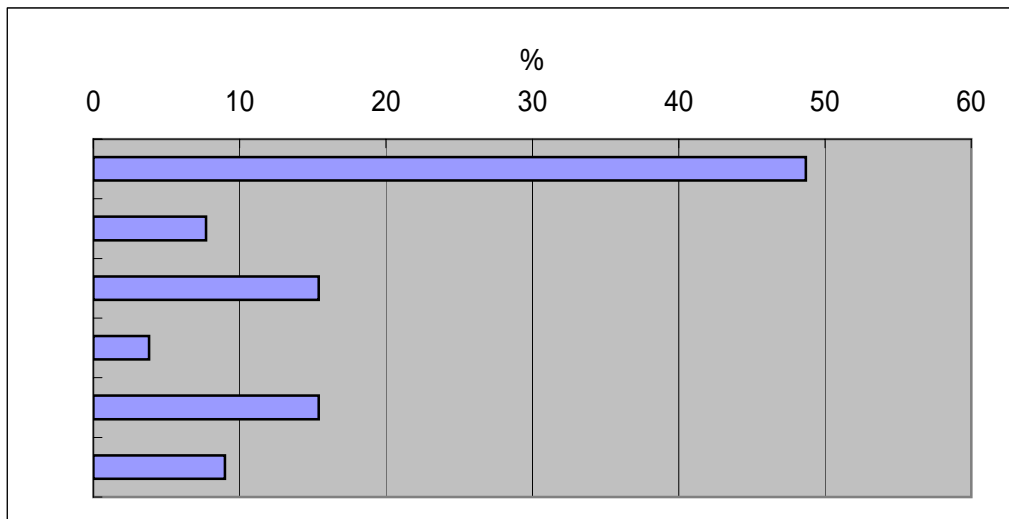
問14 《1年生から3年生のお子さんをお持ちの方のみに伺います。》
げんきっず登録以前に、お子さんを学童クラブに登録したことはありますか。【 は1つ】

ある	72(11.2%)
ない	569(88.8%)



問15 《問14で に をつけた方のみに伺います。》
げんきっずにお子さんを登録した理由は、次のうちどれですか。【 は1つ】

学校の中で実施しているから	38(48.7%)
校庭や体育館で遊べるから	6(7.7%)
友だちがげんきっずに参加しているから	12(15.4%)
兄弟姉妹がげんきっずに参加しているから	3(3.8%)
保護者負担額が学童クラブよりも安いから	12(15.4%)
その他	7(9.0%)



平成21年度江東区放課後子ども教室(げんきっず)アンケート調査結果

1 調査目的

本調査は、放課後子ども教室事業のニーズを把握し、今後の事業展開の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象

平成21年6月の時点で放課後子ども教室に登録している児童の保護者

3 調査方法

アンケート調査表の配付及び回収は、げんきっず指導員が登録児童経由で行った。

4 調査期間

平成21年6月17日(水)から平成21年6月30日(火)まで。ただし、7月4日(土)までに回答があったものを集計対象とした。

5 回収状況

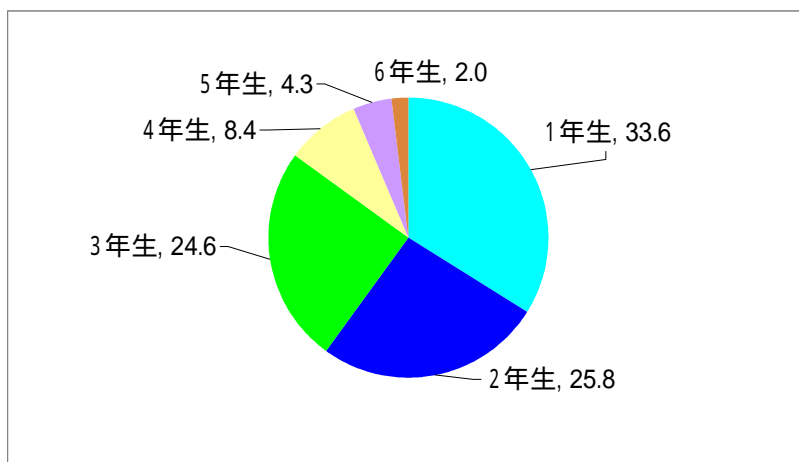
登録児童のいる380世帯数に対して、345通の回答があった(回答率は90.8%)。

放課後子ども教室（げんきっず）

項目名	集計値	構成比（％）
全体	345	100.0
豊北	279	80.9
南央	66	19.1
無回答	-	-

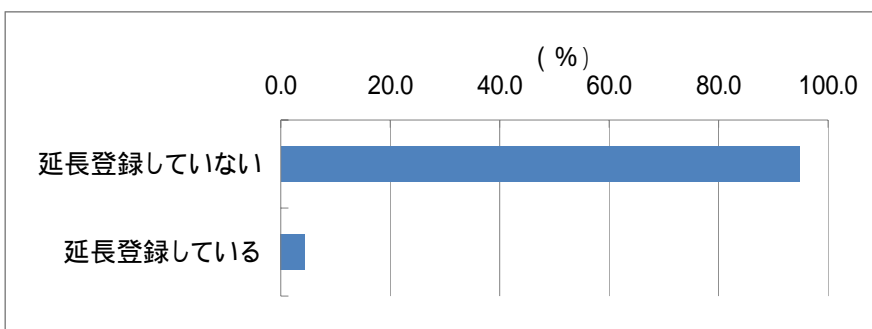
問1．児童の学年

項目名	集計値	構成比（％）
全体	345	100.0
1年生	116	33.6
2年生	89	25.8
3年生	85	24.6
4年生	29	8.4
5年生	15	4.3
6年生	7	2.0
無回答	4	1.2



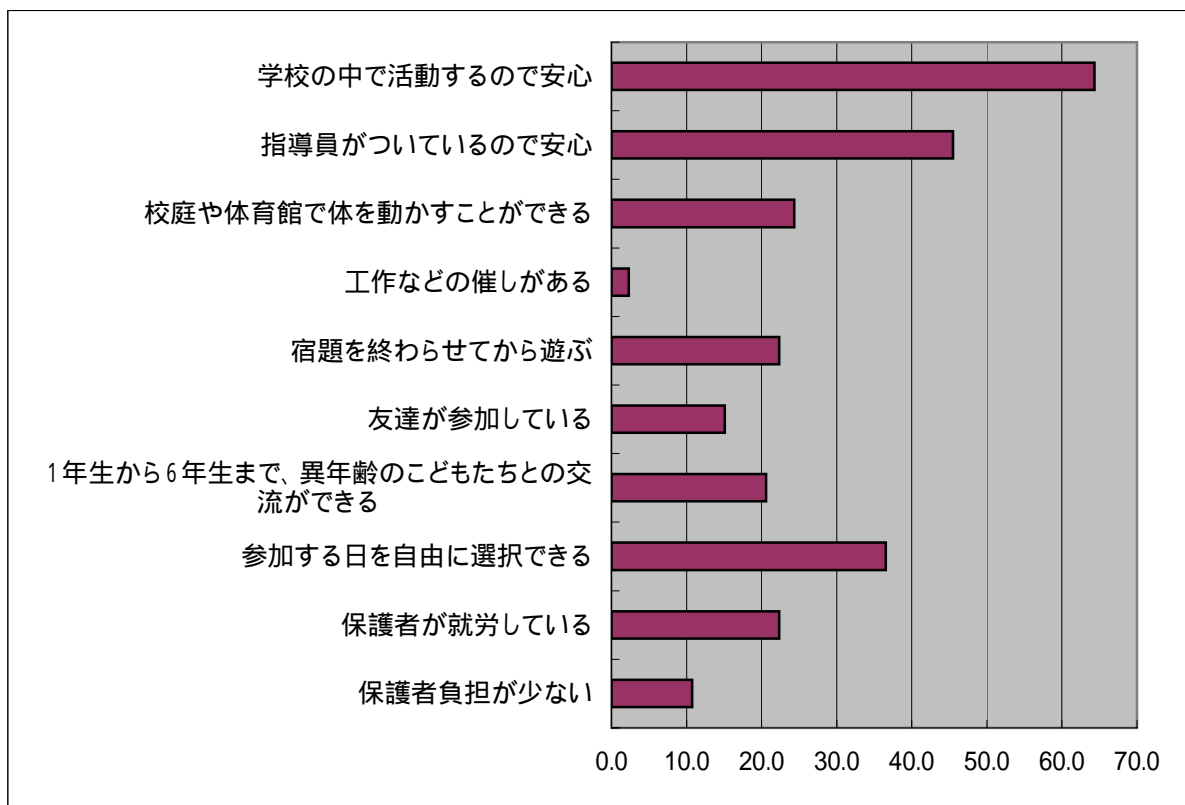
問2．延長登録の有無

項目名	集計値	構成比（％）
全体	345	100.0
延長登録していない	327	94.8
延長登録している	15	4.3
無回答	3	0.9



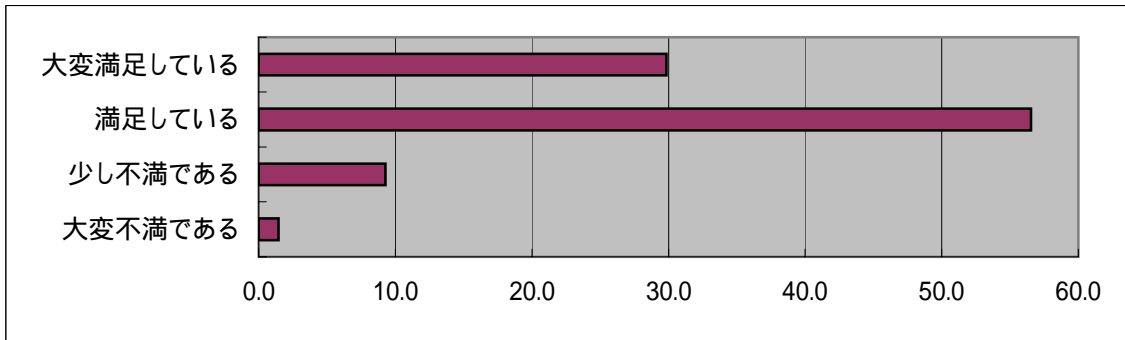
問3. げんきっずに登録している理由

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	345	100.0
学校の中で活動するので安心	222	64.3
指導員がついているので安心	157	45.5
校庭や体育館で体を動かすことができる	84	24.3
工作などの催しがある	8	2.3
宿題を終わらせてから遊ぶ	77	22.3
友達に参加している	52	15.1
1年生から6年生まで、異年齢の子どもたちとの交流ができる	71	20.6
参加する日を自由に選択できる	126	36.5
保護者が就労している	77	22.3
保護者負担が少ない	37	10.7
その他	11	3.2
無回答	14	4.1



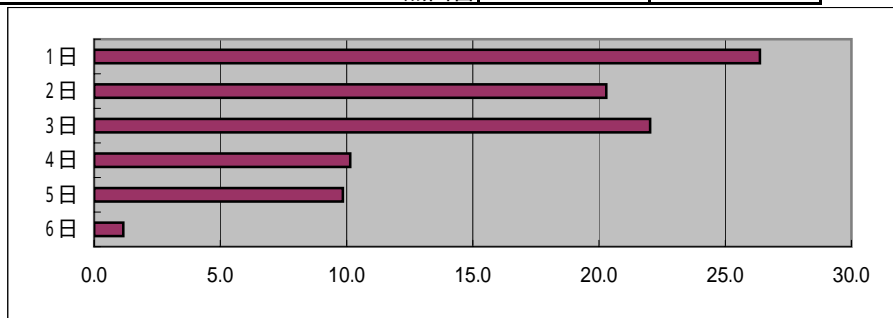
問4. げんきっずについての感想

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	345	100.0
大変満足している	103	29.9
満足している	195	56.5
少し不満である	32	9.3
大変不満である	5	1.4
無回答	10	2.9



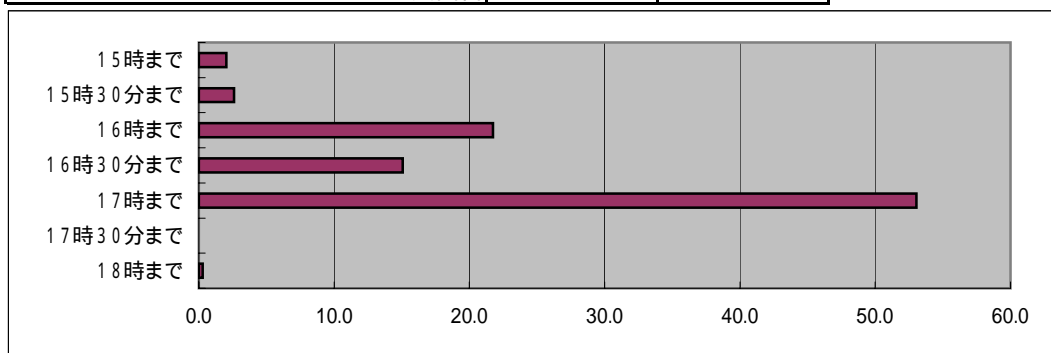
問5. げんきっずの利用頻度 (週)

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	345	100.0
1日	91	26.4
2日	70	20.3
3日	76	22.0
4日	35	10.1
5日	34	9.9
6日	4	1.2
無回答	35	10.1



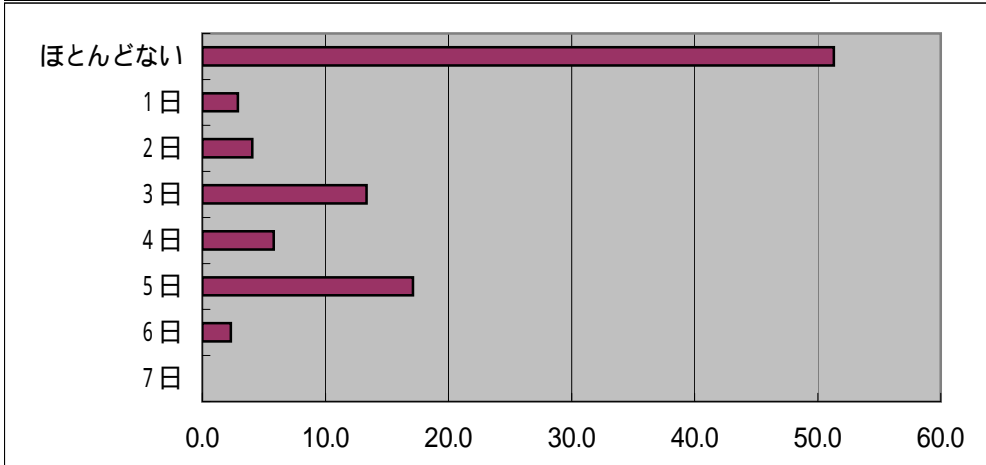
問6. げんきっずの利用時間

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	345	100.0
15時まで	7	2.0
15時30分まで	9	2.6
16時まで	75	21.7
16時30分まで	52	15.1
17時まで	183	53.0
17時30分まで	-	-
18時まで	1	0.3
無回答	18	5.2



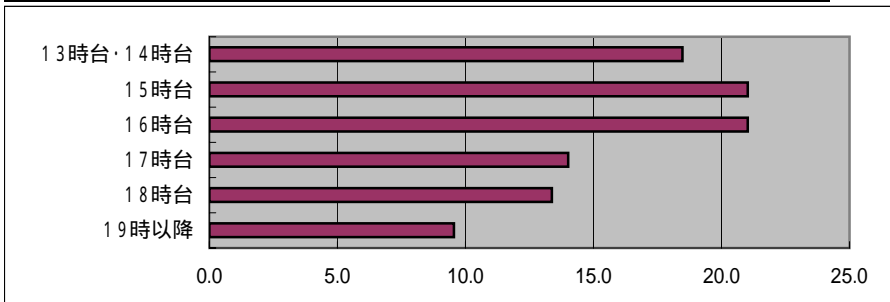
問7. 保護者が昼間家庭にいない日

項目名	集計値	構成比(%)
全体	345	100.0
ほとんどない	177	51.3
1日	10	2.9
2日	14	4.1
3日	46	13.3
4日	20	5.8
5日	59	17.1
6日	8	2.3
7日	-	-
無回答	11	3.2



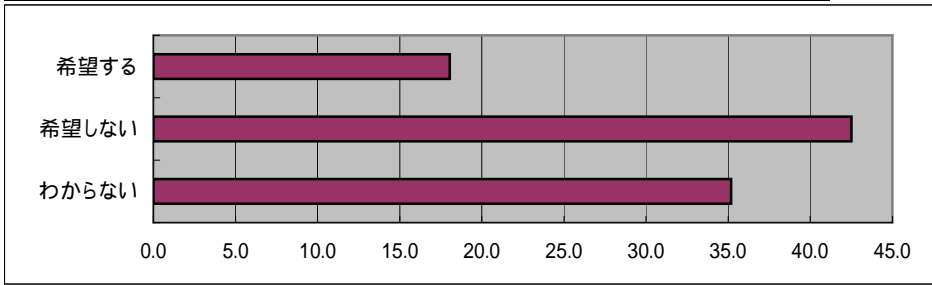
問8. 保護者の通常の帰宅時間

項目名	集計値	構成比(%)
全体	157	100.0
13時台・14時台	29	18.5
15時台	33	21.0
16時台	33	21.0
17時台	22	14.0
18時台	21	13.4
19時以降	15	9.6
無回答	4	2.5



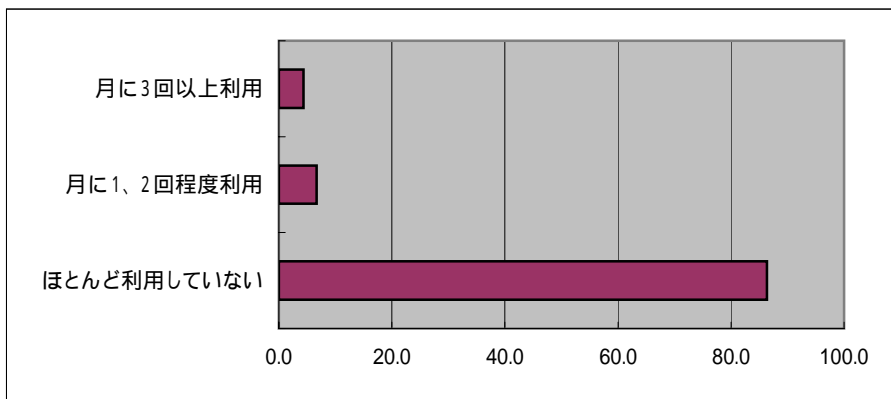
問9．迎えの義務がなくなった場合の延長登録の希望

項目名	集計値	構成比(%)
全体	327	100.0
希望する	59	18.0
希望しない	139	42.5
わからない	115	35.2
無回答	14	4.3



問10．土曜日の利用状況

項目名	集計値	構成比(%)
全体	345	100.0
月に3回以上利用	15	4.3
月に1、2回程度利用	23	6.7
ほとんど利用していない	298	86.4
無回答	9	2.6



平成 21 年度江東区学童クラブアンケート調査結果

1、調査目的

本調査は、学童クラブ事業のニーズを把握し、今後の事業展開の基礎資料とすることを目的とする。

2、調査対象

平成21年6月の時点で学童クラブに登録している児童の保護者

3、調査方法

アンケート調査票の配付及び回収は、学童クラブ指導員が登録児童経由で行った。

4、調査期間

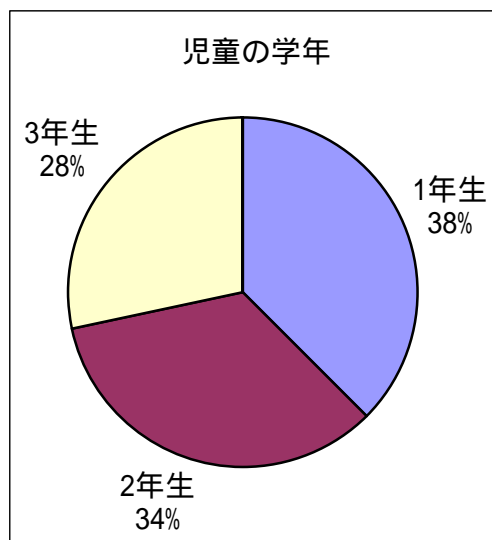
平成21年6月18日(木)から平成21年6月25日(木)まで。ただし、7月7日(火)までに回答があったものを集計対象とした。

5、回収状況

平成21年6月1日現在登録児童数2,957名の世帯のうち、2,892世帯に配付し、2,271通の回答があった。(回答率は78.5パーセント)

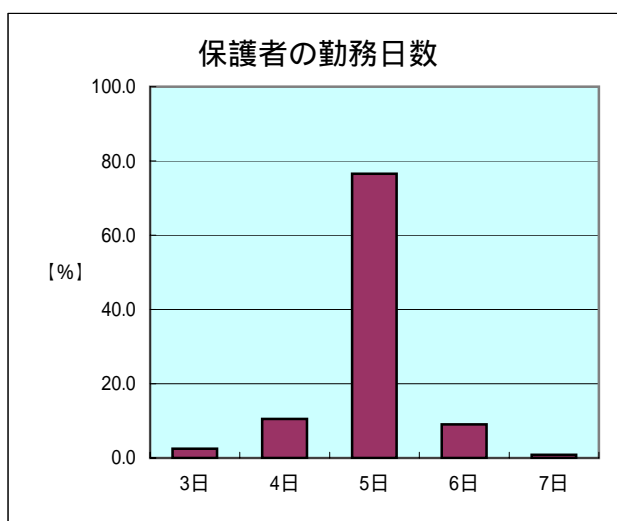
問1 お子さんの現在の学年に をつけてください【ひとつえらんで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1年生	852	37.5
2	2年生	777	34.2
3	3年生	641	28.2
	無回答	1	0.0
	全体	2,271	100.0



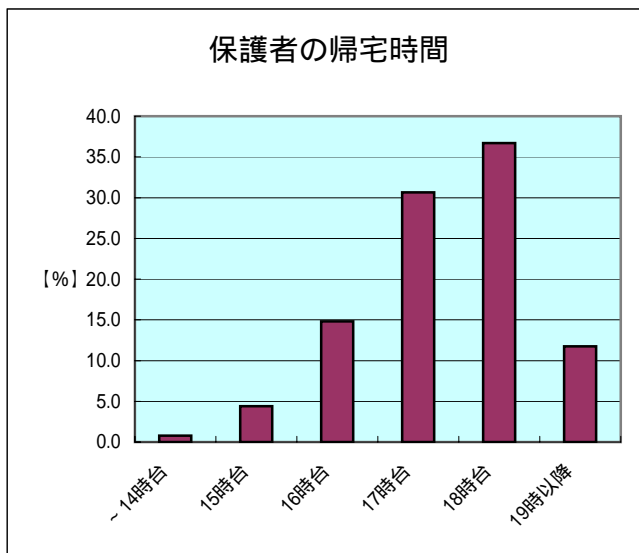
問2 保護者の方の通常の勤務日数（学生の方は通学日数、病気療養中等の場合はお子さんの保護に欠ける日数）に をつけてください。【両親の場合、日数の少ない方の番号に をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	3日	57	2.5
2	4日	238	10.5
3	5日	1,739	76.6
4	6日	205	9.0
5	7日	19	0.8
	無回答	13	0.6
	全体	2,271	100.0



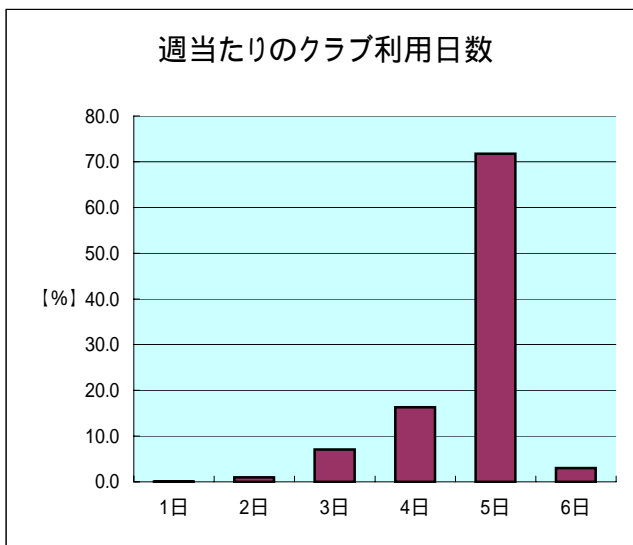
問3 保護者の方の通常の帰宅時間に をつけてください。【両親の場合、帰宅の早い方の時間帯に をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	～14時台	18	0.8
2	15時台	100	4.4
3	16時台	336	14.8
4	17時台	696	30.6
5	18時台	833	36.7
6	19時以降	267	11.8
	無回答	21	0.9
	全体	2,271	100.0



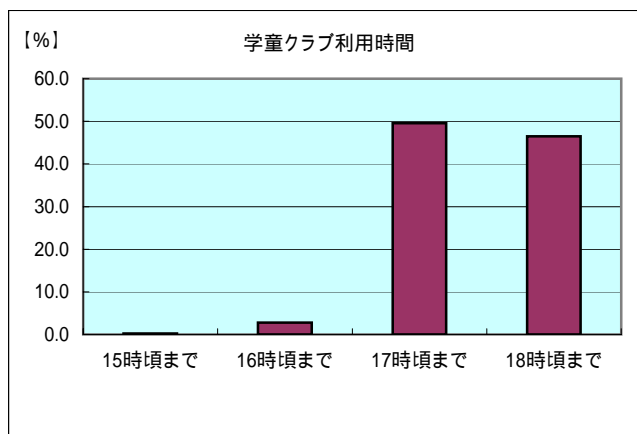
問4 お子さんは、週に何日学童クラブを利用することが多いですか。【ひとつ選んで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1日	2	0.1
2	2日	22	1.0
3	3日	161	7.1
4	4日	370	16.3
5	5日	1,629	71.7
6	6日	69	3.0
	無回答	18	0.8
	全体	2,271	100.0



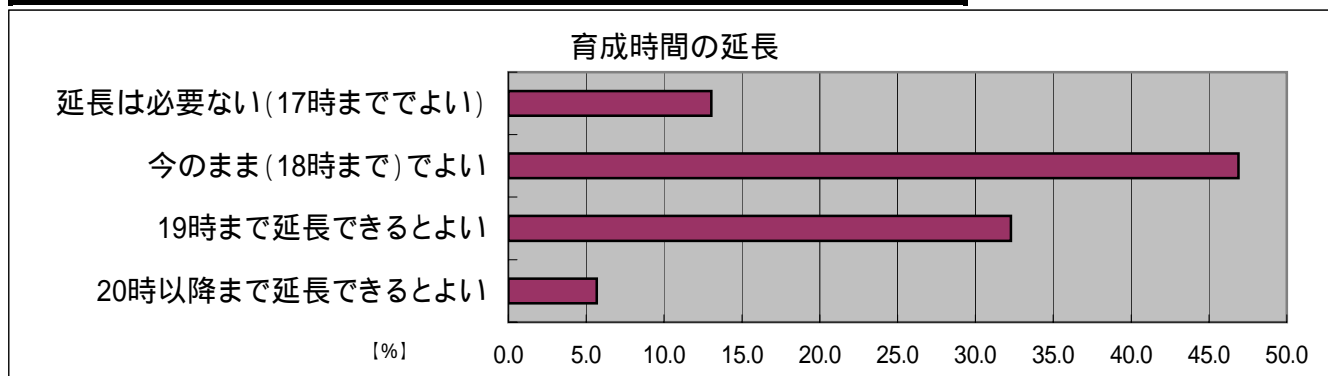
問5 お子さんは何時まで学童クラブを利用することが多いですか。【ひとつ選んで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	15時頃まで	5	0.2
2	16時頃まで	63	2.8
3	17時頃まで	1,125	49.5
4	18時頃まで	1,056	46.5
	無回答	22	1.0
	全体	2,271	100.0



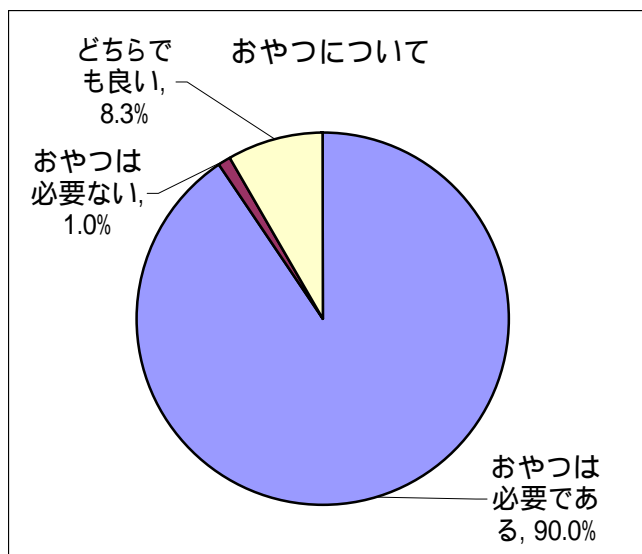
問6 学童クラブ利用時間の延長についてどのようにお考えですか。【ひとつ選んで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	延長は必要ない(17時まででよい)	296	13.0
2	今のまま(18時まで)でよい	1,065	46.9
3	19時まで延長できるとよい	733	32.3
4	20時以降まで延長できるとよい	129	5.7
	無回答	48	2.1
	全体	2,271	100.0



問7 学童クラブでは生活の節目としておやつ時間を設け、仲間とともに楽しく食べ、食生活のマナーなどを身につけられるようにしています。おやつについてどう思われますか。【ひとつ選んで をつけ、特に理由がありましたら《理由》の欄にお書きください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	おやつは必要である	2,043	90.0
2	おやつは必要ない	22	1.0
3	どちらでも良い	188	8.3
	無回答	18	0.8
	全体	2,271	100.0

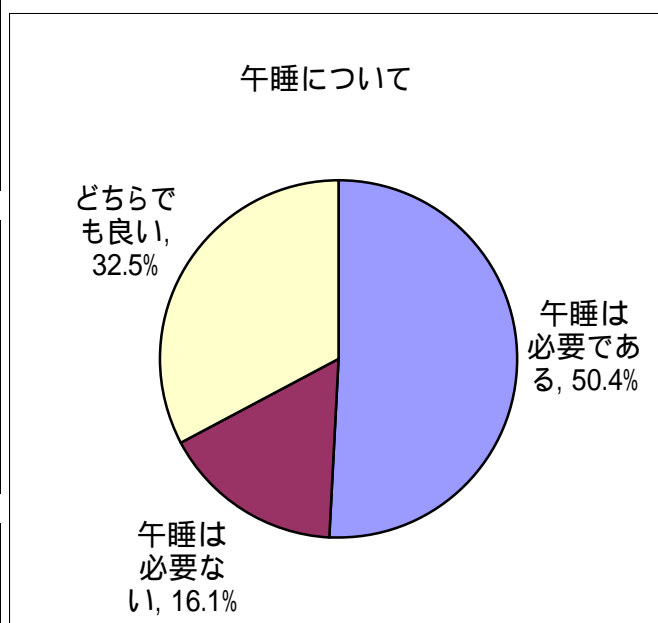


必要である主な理由	回答者数
夕食までの補食として	484
こどもが楽しみにしているから	409
おなかがすくから	330
友たちとコミュニケーションが図れるから	162
成長期の栄養補給のため	101
マナーを身につけられるため	61
必要だが、内容を工夫してほしい	43
ほっとできる場だから	36
必要だが、量が多すぎる	28
家でも同じ時間帯で食べているから	16
生活の節目として必要だから	14
食育につながる大切なことだから	14

必要ない主な理由	回答者数
量が多すぎる、夕食にひびく	8
おやつの内容が悪い	7
遊ぶ時間がない	3
食べられるものが限られている	2

問8 学童クラブでは夏休み中、お子さんの健康、体力の維持向上のために午睡（昼寝）をしています。午睡についてどう思われますか。【ひとつ選んで をつけ、特に理由がありましたら《理由》の欄にお書きください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	午睡は必要である	1,145	50.4
2	午睡は必要ない	365	16.1
3	どちらでも良い	738	32.5
	無回答	23	1.0
	全体	2,271	100.0

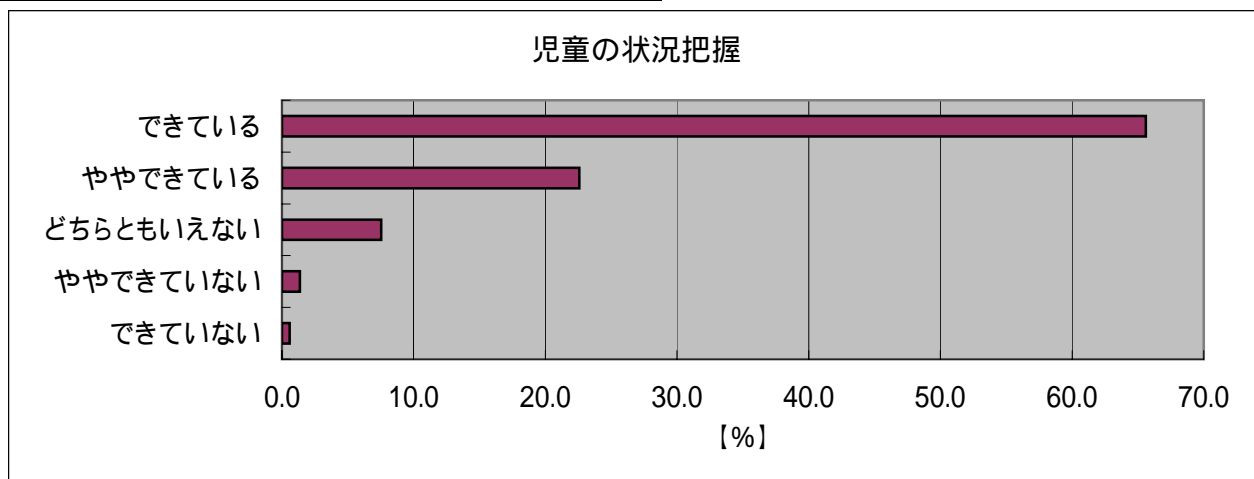


必要である主な理由	回答者数
体力が消耗するから	178
プール等があり、疲れるため	165
身体を休めるため	153
体力維持のため	113
クラブ利用時間が長いから	48
全員には強制すべきでない	37
短時間の午睡がよい	24

必要ない主な理由	回答者数
夜眠れなくなってしまう	123
学校や家では昼寝していないから	71
午睡が苦痛だと言っている	34
体力もつき、必要ない	34
ゆったり過ごすだけでよいのでは	21
生活のリズムが崩れてしまう	15

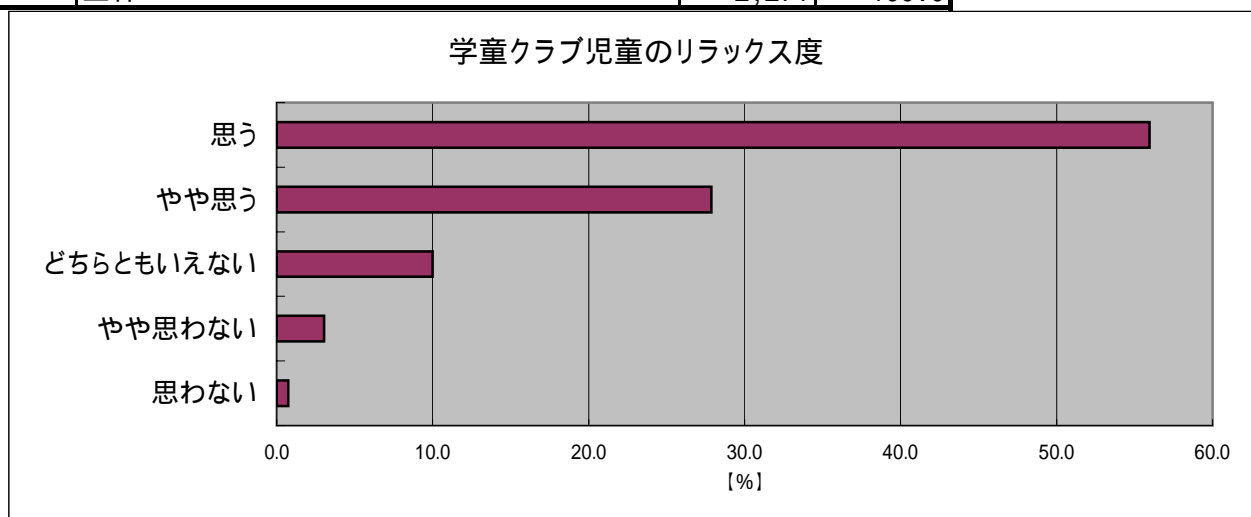
問9 お子さんの通っている学童クラブでは、職員がお子さんの状況を把握し、ご家庭との連絡を取り合いながら育成にあたっていますか。【ひとつ選んで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	できている	1,490	65.6
2	ややできている	513	22.6
3	どちらともいえない	171	7.5
4	ややできていない	31	1.4
5	できていない	13	0.6
	無回答	53	2.3
	全体	2,271	100.0



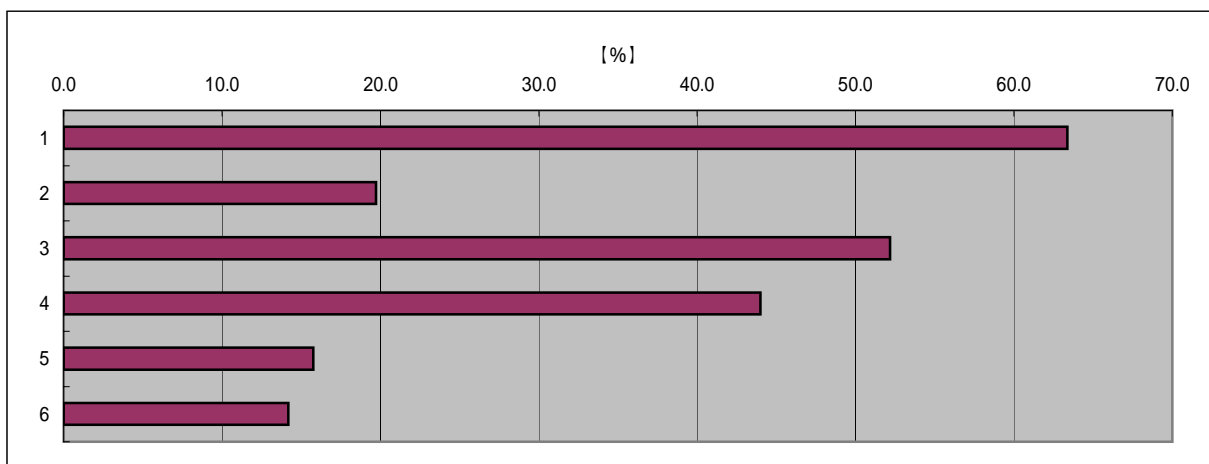
問10 学童クラブでは、お子さんがご家庭で過ごすような「生活の場」を提供することを目指しています。お子さんは学童クラブでリラックスしていると思いますか。【ひとつ選んで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	思う	1,271	56.0
2	やや思う	633	27.9
3	どちらともいえない	227	10.0
4	やや思わない	69	3.0
5	思わない	17	0.7
	無回答	54	2.4
	全体	2,271	100.0



問11 学童クラブでの生活において、今後充実したほうが良いと思われることはなんですか。【複数ある場合は、と思われるものすべてに をつけてください。】

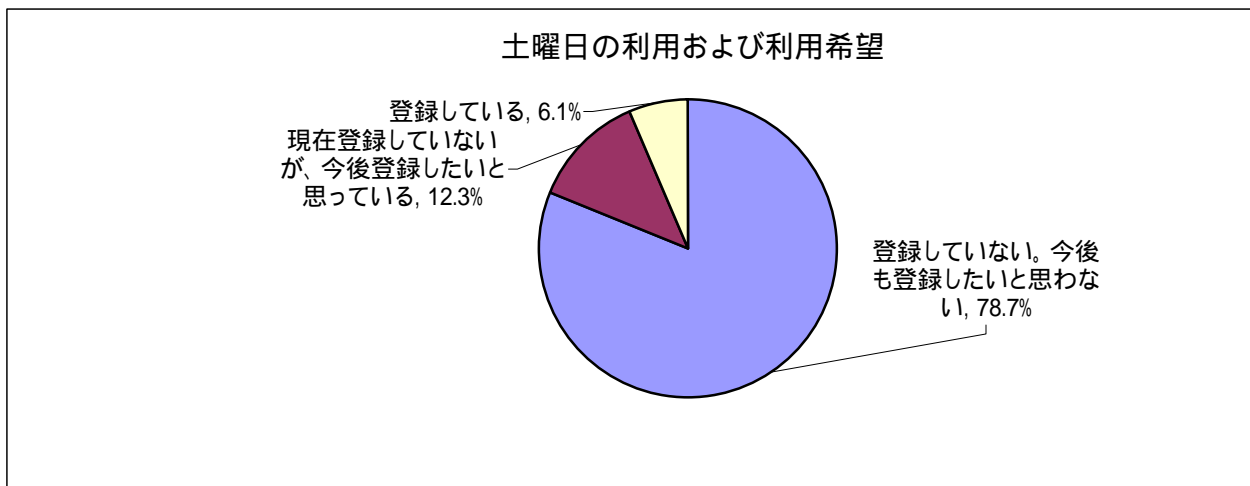
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	学校の宿題をすませてから遊ばせてほしい	1,439	63.4
2	宿題をするだけでなく、学力が向上するようなプログラムを実施してほしい	448	19.7
3	あいさつができ、思いやりの心をもてるような、しつけの面からも育成してほしい	1,185	52.2
4	様々なスポーツに取り組み、体力向上につながるようなプログラムを実施してほしい	999	44.0
5	学童クラブ児童以外とも遊べるようにしてほしい	358	15.8
6	その他	322	14.2
	無回答	86	3.8
	全体	2,271	100.0



その他学童クラブでの過ごし方(自由意見)	回答者数
現状の学童クラブに満足している	85
外遊びを取り入れてほしい	38
いろいろなイベントを実施し、様々な体験をさせたい	35
異年齢間の交流など、たくさんの子どもたちと遊んでほしい	14
マナーを身につけ、思いやりをもてるよう指導してほしい	15
宿題を最低限きちんとすませてほしい	13
学童クラブで過ごせるスペースを増やしてほしい	13
4年生以降も対応してほしい	11
宿題以外の学習機会(英会話、書道、体操等)を取り入れてほしい	11

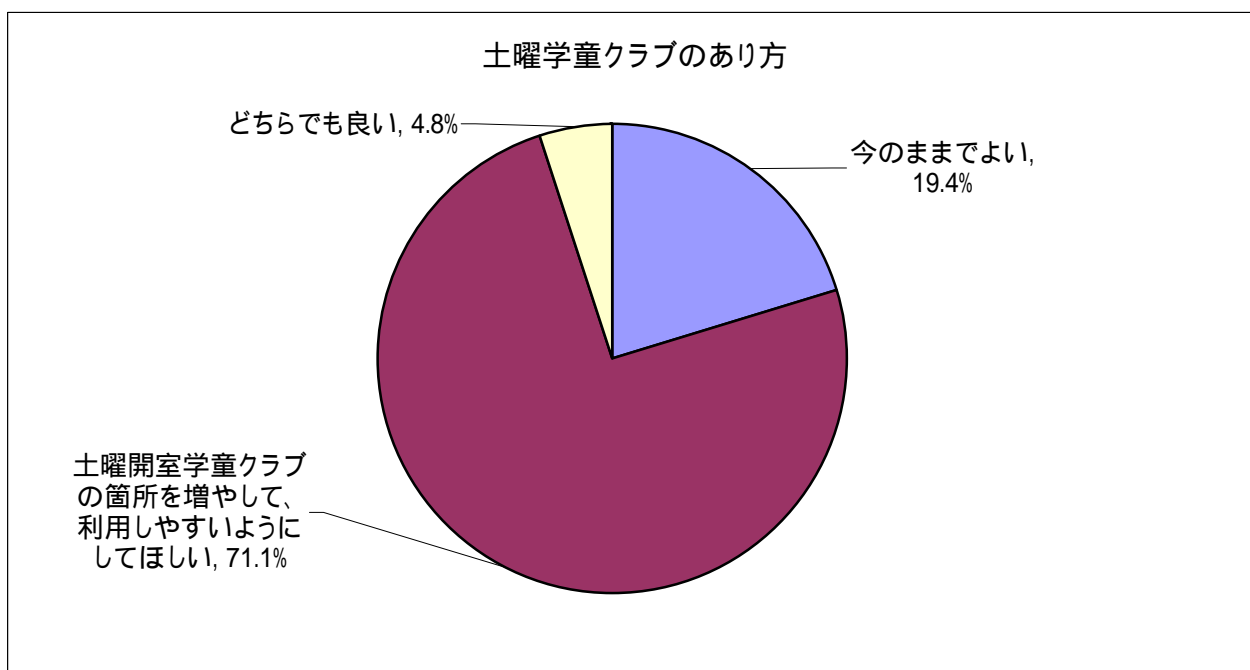
問12 お子さんは、土曜開室学童クラブに登録していますか。また、今後登録したいと思っていますか。【ひとつ選んで をつけてください。】

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	登録している	138	6.1
2	現在登録していないが、今後登録したいと思っている	280	12.3
3	登録していない。今後も登録したいと思わない	1,788	78.7
	無回答	65	2.9
	全体	2,271	100.0



問13 問12で または に をつけた方におうかがいします。現在、土曜日開室学童クラブは、集団生活が確保できる規模を保つため、区内7ヶ所での拠点方式で学童クラブを実施しています。今後の土曜日の学童クラブのあり方についてどう思われますか。【ひとつ

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	今のままでよい	81	19.4
2	土曜開室学童クラブの箇所を増やして、利用しやすいようにしてほしい	297	71.1
3	どちらでも良い	20	4.8
	無回答	20	4.8
	非該当	1,853	
	全体	418	100.0



学童クラブアンケート調査結果を受けて

1 調査結果

保護者の帰宅時間と利用時間の延長希望

保護者の帰宅時間については、18時台、19時台が50%近くになっており、現状の18時までの育成時間延長では、児童が学童クラブからの帰宅後、保護者の帰りを待つケースが、かなりの割合でいるものと推測される。このため、育成時間の19時までの延長を希望する保護者が32%となっており、20時以降までの希望を含めると40ポイント近くになっていると考えられる。

おやつ必要性

9割の保護者がおやつは必要としている。その理由として主に、夕食までの間の補食となる、こどもが楽しみにしている、こどもがリラックスできる時間であるから、があげられている。

学童クラブでの生活の場提供について

職員が、家庭と連絡を取り合いながら、児童の状況を把握して育成にあたっているかについては、「できている」「ややできている」をあわせると90ポイント近くになっている。また、「やや思う」も含めると、80%以上の家庭で、児童が学童クラブを生活の場としてリラックスできているとしている。

学童クラブで今後充実すべきところ

- ・複数回答可とし、自由意見も記入する回答の中で、一番多いのは『宿題を済ませてから遊ばせてほしい』という項目であった。(63.4パーセント)
- ・自由意見の中では、学習は学校で十分行っており、学童クラブでまでやる必要はないという意見もある一方で、有料でも良いから取り組んでほしいという希望も見受けられた。
- ・しつけの面、スポーツプログラムの充実についても50ポイント前後の希望があった。

2 調査を踏まえた課題

利用時間の延長希望については、「平成20年度江東区民子育てニーズ調査報告書」においても、今回の調査と同様の高い希望があげられており、対応策が必要である。

おやつ必要性についてはいろいろ意見があるが、アンケート結果から、おやつは、夕食までの補食として継続する必要がある。

学童クラブでの生活の場提供について、学童クラブ職員が、日頃連絡帳等を通し、保護者との意思疎通を図りながら、こどもたちがくつろげる環境づくりを行っていることを示している。引き続き、生活に配慮した取り組みが必要である。

学童クラブで今後充実すべき点について、最も多かった宿題だけではなく、学力向上に関するプログラムを希望する保護者も20パーセント近くいることから、これらについての取り組みが大切であると思われる。ただし、学校での学習を終えての放課後の時間帯である等を考慮し、遊びを加味するなど工夫した取り組みが必要である。

しつけ及びスポーツプログラムの充実についても、高いポイントが示されており、『知・徳・体』での取り組みを積極的に取り入れる必要がある。

平成21年度江東区放課後子ども教室(げんきっず)児童アンケート調査結果

1 調査目的

本調査は、放課後子ども教室事業のニーズを把握し、今後の事業展開の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象

平成21年9月の時点で放課後子ども教室に登録している児童。

3 調査方法

げんきっず職員が出席児童に配付し、その場で実施し、回収。

4 調査期間

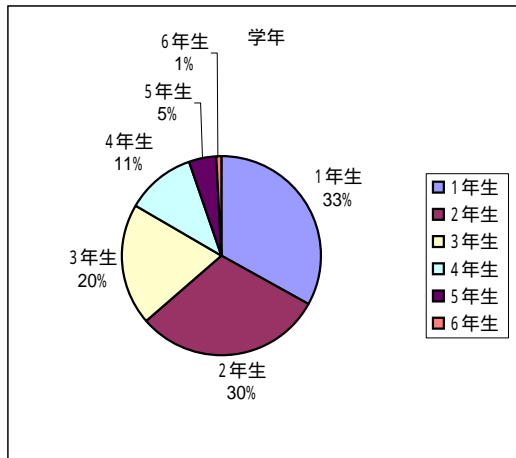
9月1日(火)から9月7日(月)までのげんきっず活動時間内にアンケートを実施。

5 回収状況

平成21年8月1日現在登録児童数1,655名のうち、調査期間参加者889名から回答があった。

問1. 学年

項目名	集計値	構成比(%)
全体	889	100.0
1年生	294	33.1
2年生	269	30.3
3年生	175	19.7
4年生	101	11.4
5年生	41	4.6
6年生	7	0.8
無回答	2	0.2

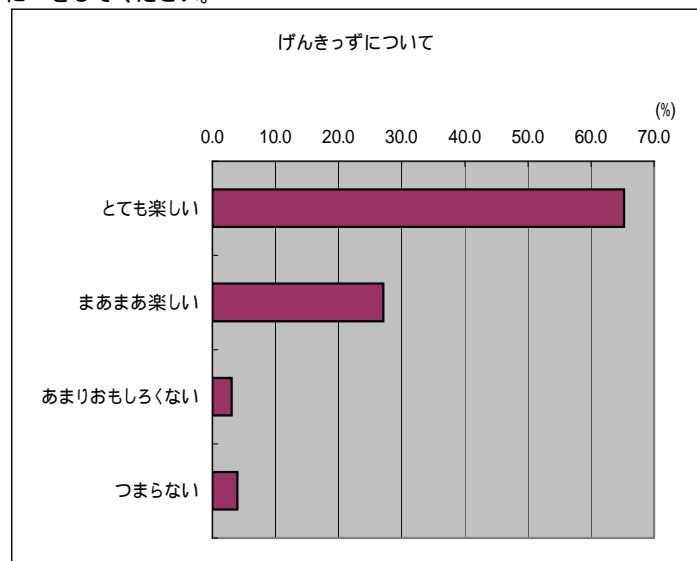


問2. 性別

項目名	集計値	構成比(%)
全体	889	100.0
男	395	44.4
女	491	55.2
無回答	3	0.3

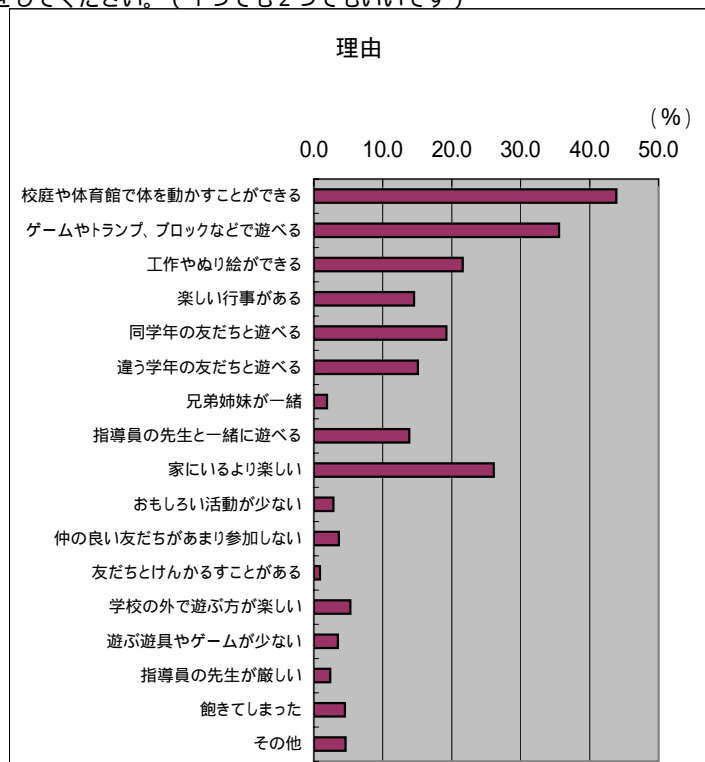
問3. げんきっずについてどう思(おも)っていますか。1つに をしてください。

項目名	集計値	構成比(%)
全体	889	100.0
とても楽しい	580	65.2
まあまあ楽しい	241	27.1
あまりおもしろくない	27	3.0
つまらない	35	3.9
無回答	6	0.7



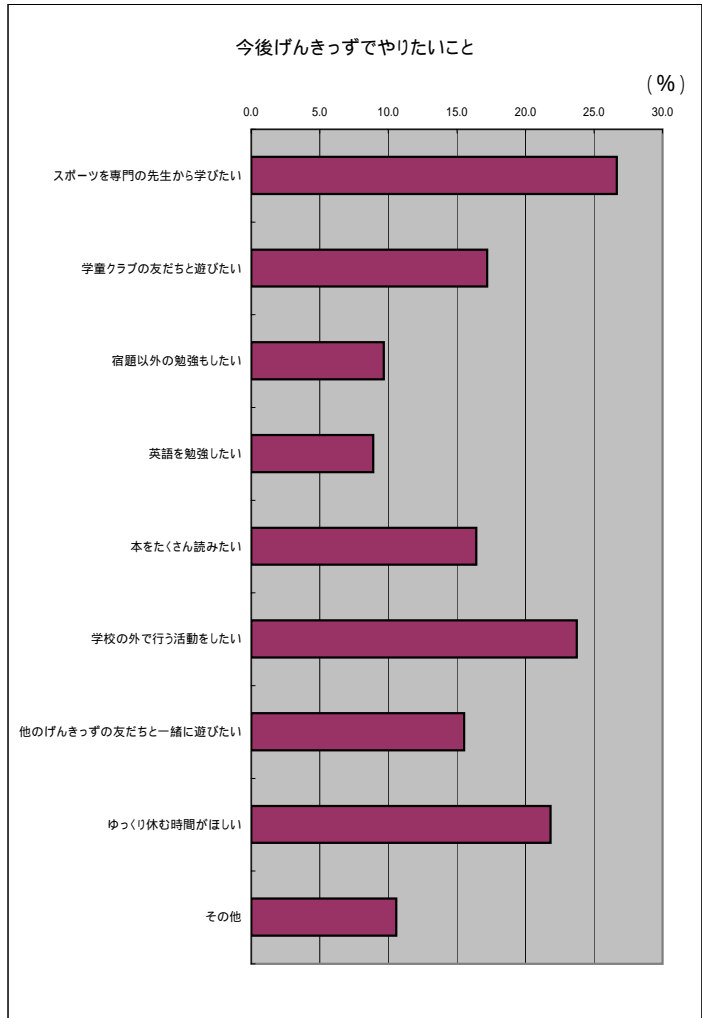
問4. その理由(りゆう)を下から3つまで選(えら)んで をしてください。(1つでも2つでもいいです)

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	889	100.0
校庭や体育館で体を動かすことができる	390	43.9
ゲームやトランプ、ブロックなどで遊べる	316	35.5
工作やぬり絵ができる	192	21.6
楽しい行事がある	129	14.5
同学年の友だちと遊べる	171	19.2
違う学年の友だちと遊べる	134	15.1
兄弟姉妹が一緒	17	1.9
指導員の先生と一緒に遊べる	123	13.8
家にいるより楽しい	232	26.1
おもしろい活動が少ない	25	2.8
仲の良い友だちがあまり参加しない	32	3.6
友だちとけんかすることがある	8	0.9
学校の外で遊ぶ方が楽しい	47	5.3
遊ぶ遊具やゲームが少ない	31	3.5
指導員の先生が厳しい	21	2.4
飽きてしまった	40	4.5
その他	41	4.6
無回答	77	8.7



問5. 今後(こんご)げんきっずでやりたいことを下(した)から2つまで選(えら)んで をしてください。(1つでもいいです)

項目名【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	889	100.0
スポーツを専門の先生から学びたい	237	26.7
学童クラブの友だちと遊びたい	153	17.2
宿題以外の勉強もしたい	86	9.7
英語を勉強したい	79	8.9
本をたくさん読みたい	146	16.4
学校の外で行う活動をしたい	211	23.7
他のげんきっずの友だちと一緒に遊びたい	138	15.5
ゆっくり休む時間がほしい	194	21.8
その他	94	10.6
無回答	77	8.7



放課後子ども教室(げんきっず)児童アンケート調査結果を受けて

全 体

- ・「まあまあ楽しい」を含めて、「楽しい」が92.3%であった。
- ・理由は、校庭や体育館で体を動かすことができる、ゲームやトランプ、ブロックなどで遊べる、家にいるより楽しい、工作やぬり絵ができる、同学年の友だちと遊べる がベスト5であった。
- ・今後やりたいことは、スポーツ、学校外の活動、ゆっくり休むの順が多かった。

学年別

- ・1、2年生は、「とても楽しい」が70%を超えている。学年が上がるにつれて、「とても楽しい」は減少しているが(6年生は回答数が少ないので除く)「まあまあ楽しい」を含めると、3年生までは90%を超え、4年生でも83%を超えている。ただ、5年生になると68%に止まっている。
- ・楽しい理由については、特に学年によって大きな差はみられなかった。「異学年の友だちと遊べる」がどの学年でも15%前後の回答があったのが印象的である。
- ・今後やりたいことについては、「ゆっくり休む時間がほしい」がどの学年も多かったのが目立つ。また、読書の希望が低学年ほど多く、3年生以上は学校外の活動を望む声が多かった。

男女別

- ・満足度に大きな差はない。
- ・楽しい理由については、「ゲームやトランプ、ブロック」の回答が男に多く、「工作やぬり絵」の回答は女が多かった。
- ・今後やりたいことについては、「スポーツ」の回答は圧倒的に男が多く、女は「英語」や「読書」、「学校外での活動」の回答が目立った。

検証・課題

全体として、こどもたちから高い支持を受けていることが実証できた。特に低学年ほど満足度が高い。今後は、高学年の参加、満足度を上げるため、高学年向けの行事・イベントの実施や、行事・イベントを企画・運営する側での参加により、低学年児童を楽しませることで達成感や喜びを感じるような取り組みも必要である。

今後の方針として、「知・徳・体」の充実をめざしたプログラムの導入とともに、「ゆっくり休みたい」と感じているこどもにも配慮した、ほっとでき、やすらげる雰囲気づくりも考えていく必要がある。

平成 21 年度江東区学童クラブ児童アンケート調査結果

1、調査目的

本調査は、学童クラブ事業のニーズを把握し、今後の事業展開の基礎資料とすることを目的とする。

2、調査対象

平成21年8月～9月の時点で学童クラブ(12箇所)に登録している児童

(児童館併設4施設、小学校内または隣接4施設、単独4施設を無作為に抽出)
アンケート実施施設

深川、平野、平久、潮見、豊洲3丁目、亀戸、香取、北砂一丁目、大島七丁目
大島九丁目、東砂、南砂六丁目

3、調査方法

学童クラブ職員が出席児童に配付し、その場で実施し、回収

4、調査期間

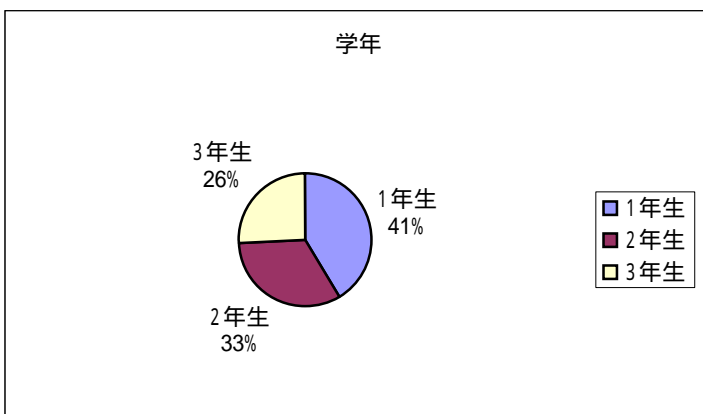
8月31日(月)から9月7日(月)までの学童クラブ活動時間内にアンケートを実施

5、回収状況

平成21年8月1日現在登録児童数872名のうち、731名の回答があった。(回答率は83.8%)

問1. 学年

項目名	集計値	構成比(%)
全体	731	100.0
1年生	300	41.0
2年生	239	32.7
3年生	188	25.7
無回答	4	0.5

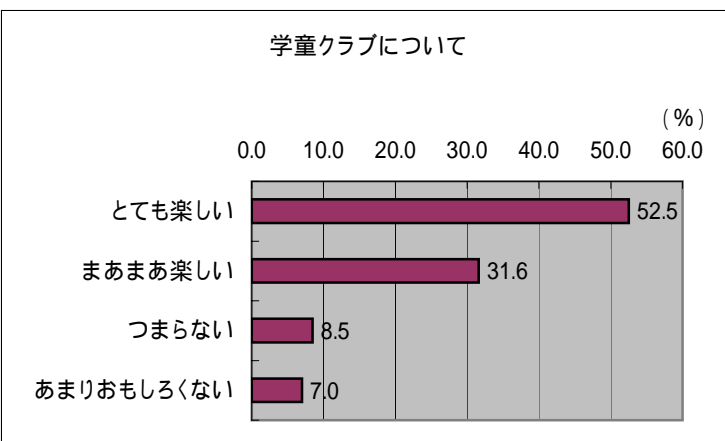


問2. 性別

項目名	集計値	構成比(%)
全体	731	100.0
男	367	50.2
女	350	47.9
無回答	14	1.9

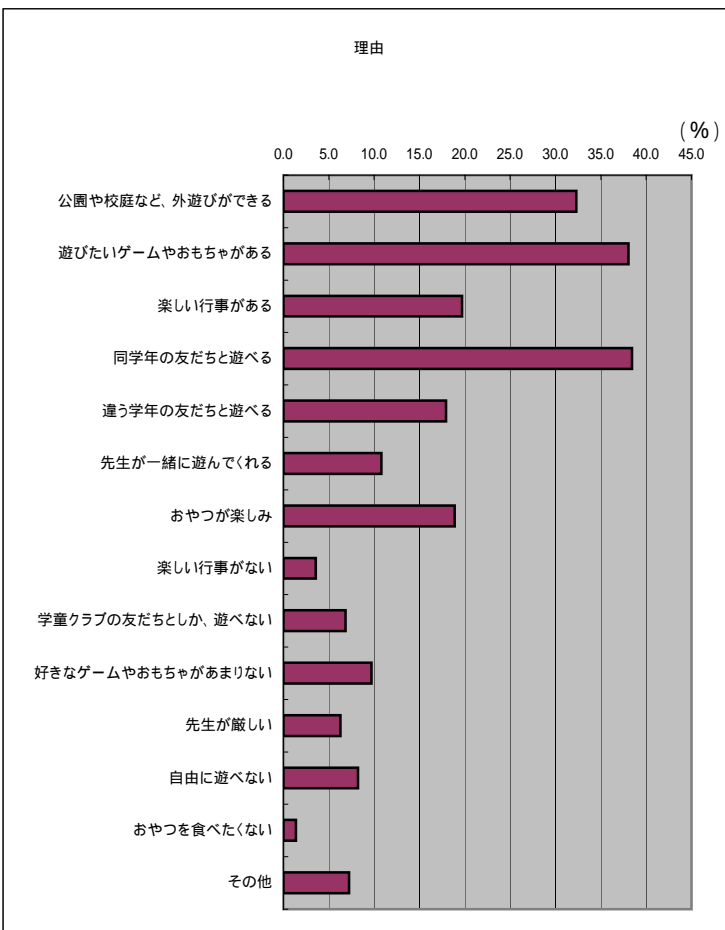
問3. がくどうクラブについてどう思(おも)っていますか。1つに をしてください。

項目名	集計値	構成比(%)
全体	731	100.0
とても楽しい	384	52.5
まあまあ楽しい	231	31.6
つまらない	62	8.5
あまりおもしろくない	51	7.0
無回答	3	0.4



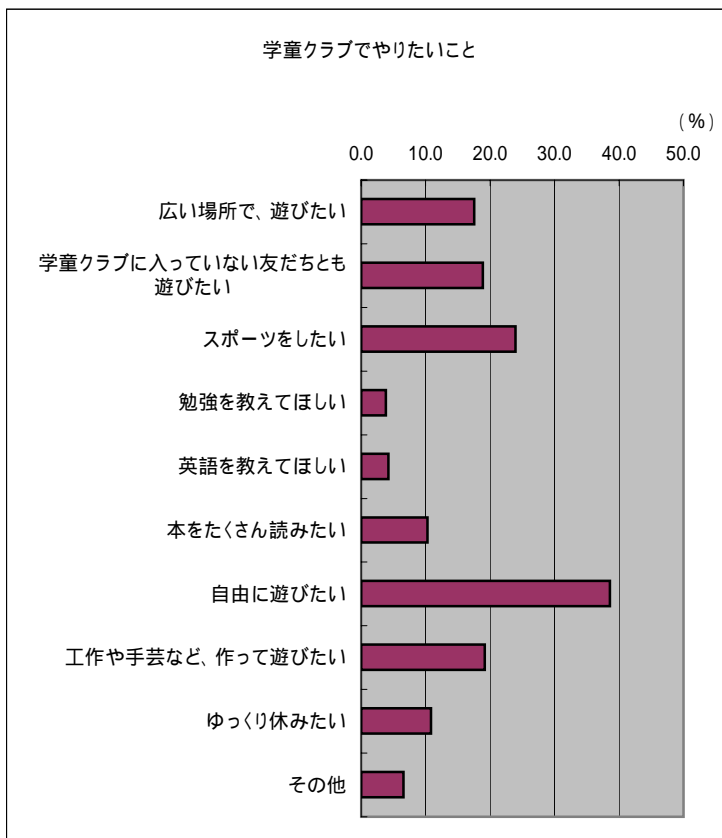
問4. その理由(りゆう)を下(した)から3つまで選(えら)んで をしてください。(1つでも2つでもいいです)

項目名【3つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	731	100.0
公園や校庭など、外遊びができる	236	32.3
遊びたいゲームやおもちゃがある	278	38.0
楽しい行事がある	144	19.7
同学年の友だちと遊べる	281	38.4
違う学年の友だちと遊べる	131	17.9
先生と一緒に遊んでくれる	79	10.8
おやつが楽しみ	138	18.9
楽しい行事がない	26	3.6
学童クラブの友だちとしか、遊べない	50	6.8
好きなゲームやおもちゃがあまりない	71	9.7
先生が厳しい	46	6.3
自由に遊べない	60	8.2
おやつを食べたくない	10	1.4
その他	53	7.3
無回答	72	9.8



問5. がくどうクラブで、どんなことをしてすごしたいですか。2つまでえらんで をつけてください。(1つでもいいです)

項目名【2つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	731	100.0
広い場所で、遊びたい	128	17.5
学童クラブに入っていない友だちとも遊びたい	138	18.9
スポーツをしたい	175	23.9
勉強を教えてほしい	28	3.8
英語を教えてほしい	31	4.2
本をたくさん読みたい	75	10.3
自由に遊びたい	282	38.6
工作や手芸など、作って遊びたい	140	19.2
ゆっくり休みたい	79	10.8
その他	48	6.6
無回答	101	13.8



学童クラブ児童アンケート調査結果を受けて

1 調査結果について

学童クラブについて(満足度)

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」をあわせると、85パーセント近い子どもたちが、学童クラブの利用について、満足していることがわかる。

満足している理由

3つまでの複数回答の中で、一番多いのが「同学年の友だちと遊べる」(38.4%)、次いで、「遊びたいゲームやおもちゃがある」(38.0%)、「公園や校庭など、外遊びができる」(32.3%)となっている。

満足できない理由

約15%の「あまりおもしろくない」「つまらない」理由としては、「好きなゲームやおもちゃがあまりない」(9.7%)、「自由に遊べない」(8.2%)、「学童クラブの友だちとしか遊べない」(6.8%)となっている。

学童クラブでやりたいこと

2つまでの複数回答の中で、「自由に遊びたい」(38.6%)が一番多く、次いで、「スポーツをしたい」(23.9%)、「工作や手芸など作って遊びたい」(19.2%)、「学童クラブに入っていない友だちとも遊びたい」(18.9%)となっている。

2 調査を踏まえた課題

学童クラブは集団生活であることから、子どもたちの希望である「自由に遊びたい」についてはある程度は必然の回答ではある。しかし、今後「江東きっずクラブ」を展開するにあたって十分に考慮し、プログラムへの参加等、子どもたちの自主性を尊重する必要がある。


子どもたちの多くが希望するスポーツへの要望に応え、積極的にプログラムに取り入れ、現在低下が指摘される、江東区児童の体力の向上に努めて行く必要がある。

学童クラブ利用児童以外との交流も図れるよう、「江東きっずクラブ」の中での積極的な交流が必要である。

平成20年度

江東区民子育てニーズ調査報告書(抄)

平成21年3月

 | 江東区

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

江東区では、平成17年3月に『こうとう子育て未来プラン 江東区次世代育成支援行動計画』を策定し、様々な子育て支援の施策を展開してきました。この計画が平成21年度で終了するため、区民の子育て支援に関する意見・要望（ニーズ）を把握し、その結果を次期計画の策定の際に反映させることを目的として、本調査を実施しました。

(2) 調査の対象

住民基本台帳より無作為に抽出した児童の保護者 3,000 人
(①就学前児童の保護者 1,500 人、②小学校児童の保護者 1,500 人)

(3) 調査の方法

調査票を対象者に郵送で送付し郵送で回収する無記名郵送方式で実施しました。

(4) 調査期間

平成20年11月27日～12月22日の期間に実施しました。

(5) 配布・回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	白表 無効票	有効 回収数	有効 回収率
就学前児童用	1,500	1,056	5	1,051	70.1%
小学校児童用	1,500	940	9	931	62.1%

(2) 学童クラブの利用状況

この設問は、問8-1で「1. 利用している」と回答した方にお伺いしました。

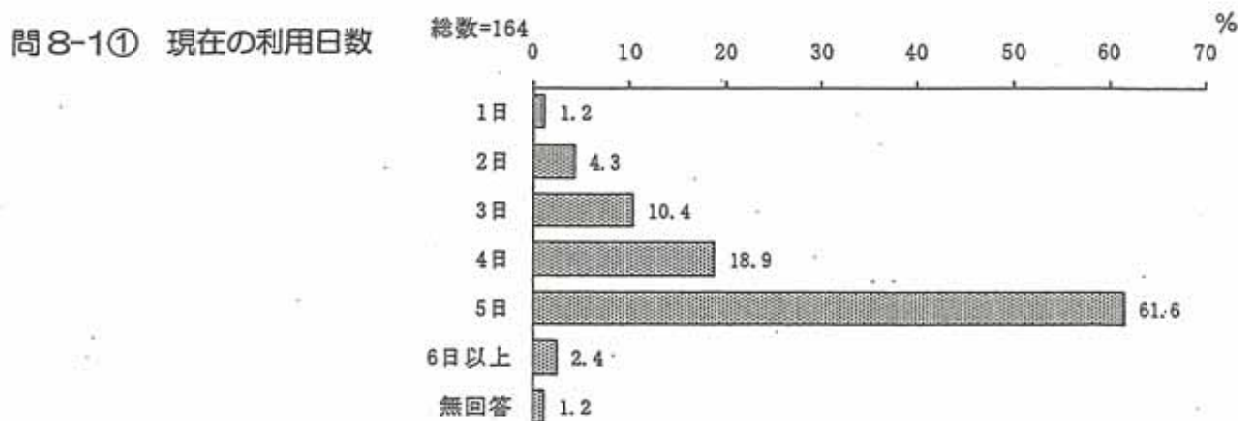
問8-1 問8で「1. 利用している」と回答した方にお伺いしました。あて名のお子さんについて、学童クラブの利用日数はどれくらいですか。

また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

また、今後できれば利用したい希望の時間は、何時間ですか。1日あたりの時間数を(何時から何時まで)枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず9:00～18:00(例)のように24時間制でご記入ください。

①現在の利用日数

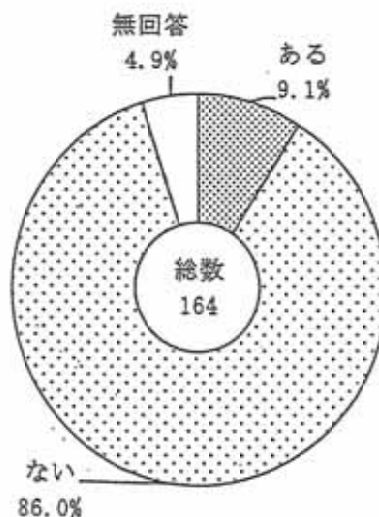
「5日」という回答が61.6%と最も多く、次いで「4日」が18.9%、「3日」が10.4%となっています。平均利用日数は4.4日でした。



②土曜日の利用

「ある」という回答は9.1%、「ない」という回答は86.0%となっています。

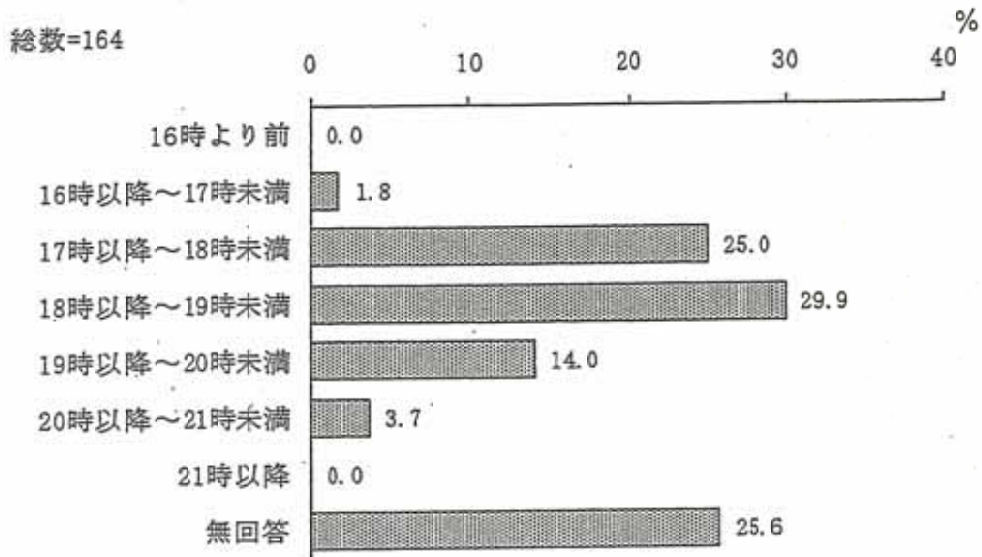
問8-1② 土曜日の利用



⑥希望する利用終了時刻

「18時以降～19時未満」という回答が29.9%と最も多く、次いで「17時以降～18時未満」が25.0%、「19時以降～20時未満」が14.0%となっています。

問8-1⑥ 希望する利用終了時刻



(7) 放課後子ども教室（げんきっず）の利用希望

この設問は、問9で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いしました。

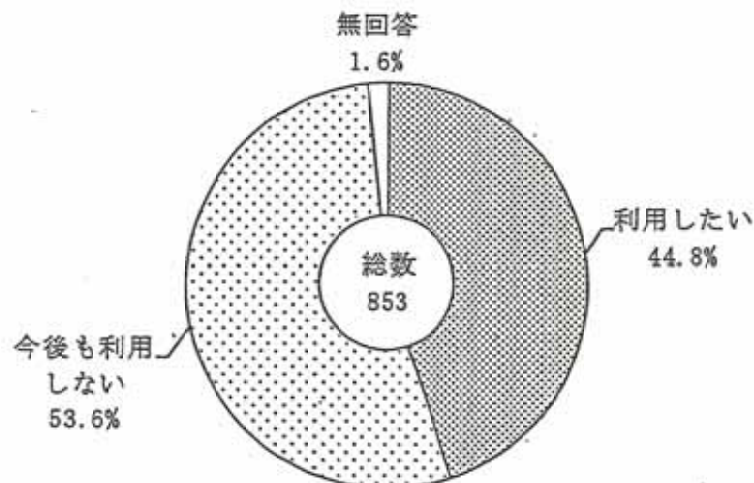
問 9-1 今後、放課後子ども教室（げんきっず）の利用意向はありますか。お子さんが通学している小学校での放課後子ども教室（げんきっず）の実施の有無にかかわらずお答えください。あてはまる答えの番号に〇をつけてください。

また、「1. 利用したい」と回答した方は、利用したい希望の日数と時間数をお答えください。時間は、必ず 9:00~18:00（例）のように 24 時間制でご記入ください。

①利用希望の有無

「利用したい」という回答は 44.8%、「今後も利用しない」という回答は 53.6%となっています。

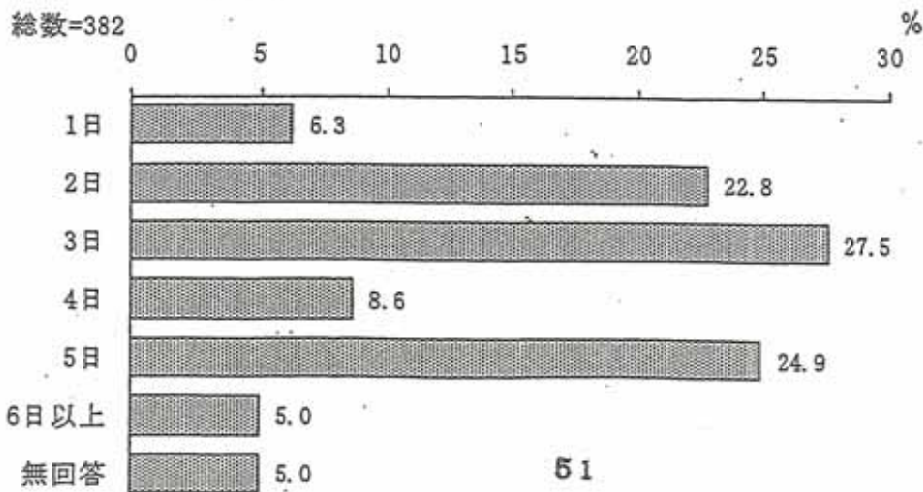
問 9-1① 利用希望の有無



②1週あたりの利用希望日数

「3日」という回答が 27.5%と最も多く、次いで「5日」が 24.9%、「2日」が 22.8%となっています。平均希望日数は 3.4 日となっています。

問 9-1③ . 1 週あたりの利用希望日数



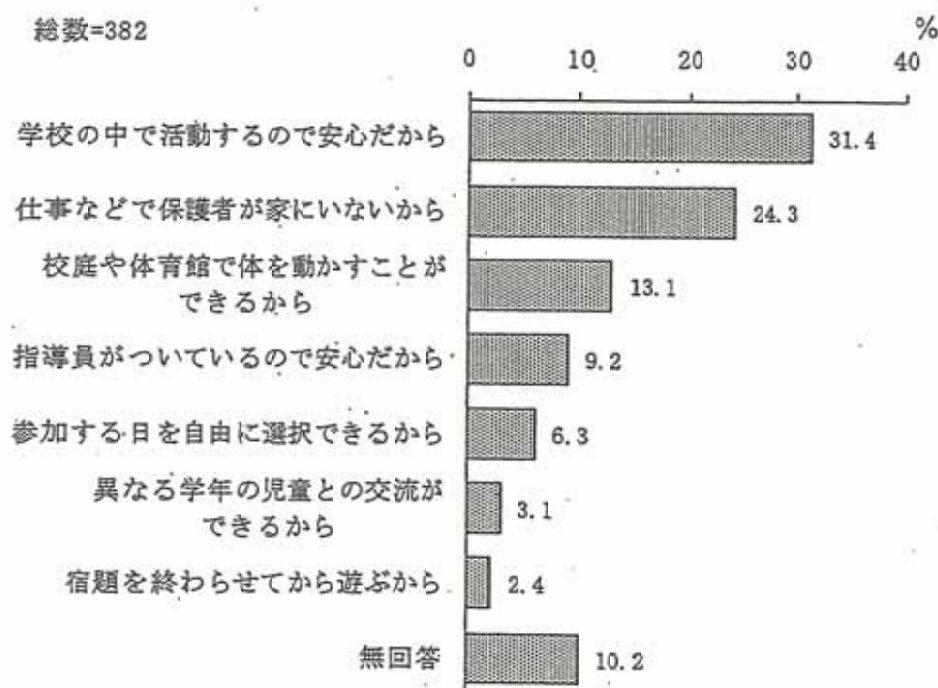
(8) 放課後子ども教室（げんきっず）を利用したい理由

この設問は、問9-1で「1. 利用したい」と回答した方にお伺いしました。

問9-2 今後放課後子ども教室（げんきっず）を利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

「学校の中で活動するので安心だから」という回答が31.4%と最も多く、次いで「仕事などで保護者が家にいないから」が24.3%、「校庭や体育館で体を動かすことができるから」が13.1%となっています。

問9-2 放課後子ども教室（げんきっず）を利用したい理由

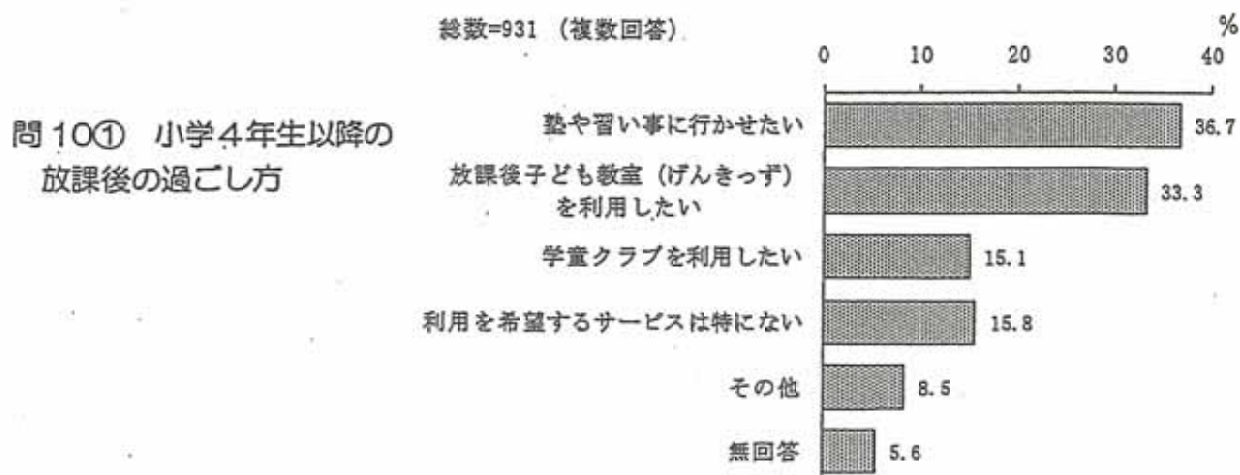


(9) 小学4年生以降の放課後の過ごし方

問10 あて名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください

①小学4年生以降の放課後の過ごし方

「塾や習い事に行かせたい」という回答が36.7%と最も多く、次いで「放課後子ども教室(げんきっず)を利用したい」が33.3%、「学童クラブを利用したい」が15.1%となっています。

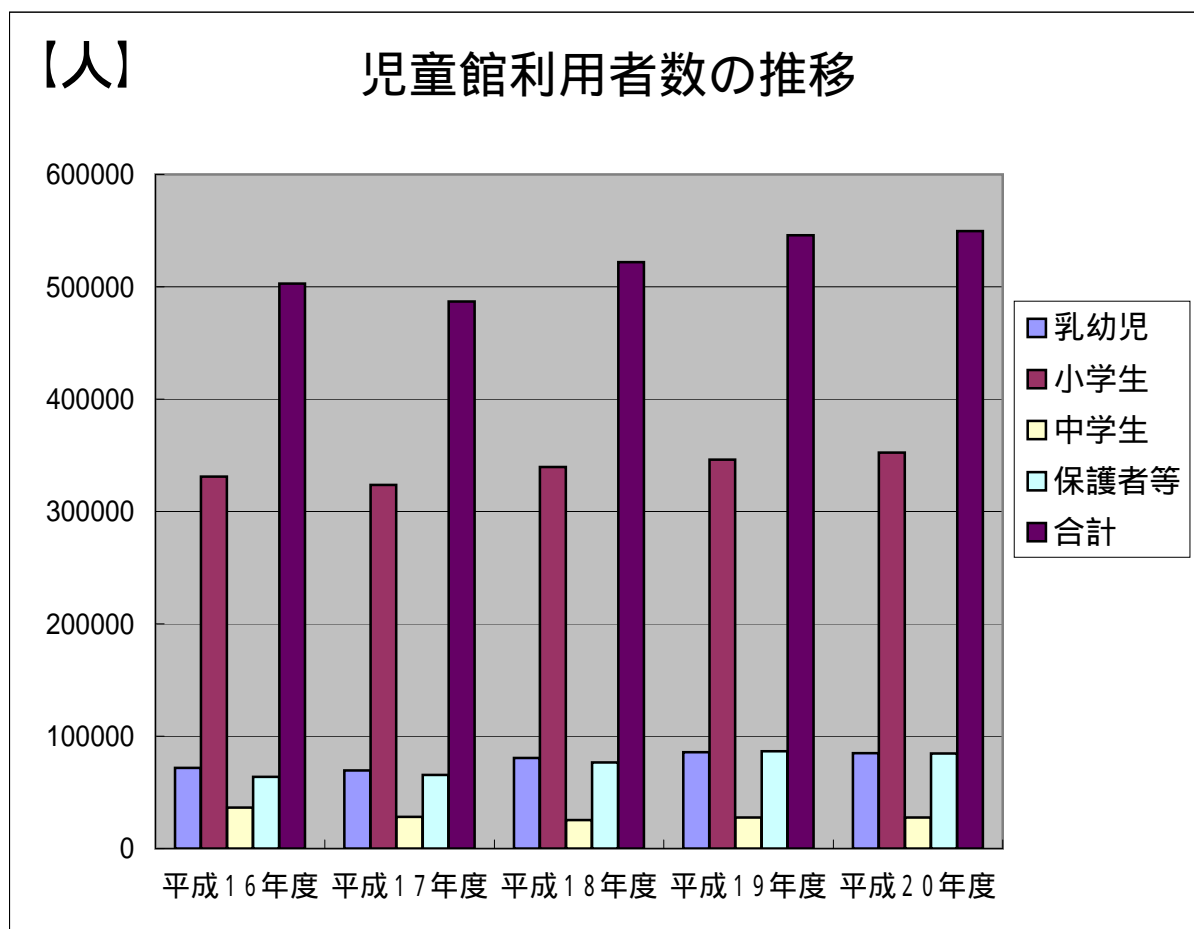


「江東きッズクラブ」の事業形態 (げんきッズ・学童クラブとの比較)

	江東きッズクラブ		げんきッズ	21年年度実施のげんきッズ		現行学童クラブ
	A登録(げんきッズ機能)	B登録(学童クラブ機能)		基本登録	延長登録	
事業目的	~こどもたちが安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場づくり~ 江東区版・放課後子どもプランでは、すべてのこどもたちが積極的に交流できる安全な居場所を作り、保護者が就労している世帯等のこどもたちには、専任の職員とスペースを確保して生活の場を提供する。		安全で安心な居場所の提供		保護者が就労している世帯等の児童の生活の場の提供	
対象児童	当該小学校在籍児童1~6年生	保護者が就労している世帯等の1~3年生	当該小学校在籍児童1~6年生		保護者が就労している世帯等の1~3年生	
開設日	日曜日、祝日、年末年始を除く毎日(土曜日については、児童館内で実施)		げんきッズ八名川・毛利・・・土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く毎日 上記以外・・・日曜日、祝日、年末年始を除く毎日		日曜日、祝日、年末年始を除く毎日(土曜日は7ヶ所の学童クラブで拠点方式で実施)	
利用時間(授業日)	[4月~9月]放課後~午後5時まで [10月~3月]放課後~午後4時30分まで(希望により午後5時まで)	延長登録 放課後から午後5時まで(保護者の就労状況により午後7時まで)	原則、放課後~午後5時まで(希望により、午後6時まで)	[4月~9月]放課後~午後5時まで [10月~3月]放課後~午後4時30分まで(希望により午後5時まで)	午後5時~午後6時まで	放課後から午後5時まで(保護者の就労状況により、月~金は午後6時まで)
利用時間(学校休業日)	[4月~9月]午前8時30分~午後5時まで [10月~3月]午前8時30分~午後4時30分まで(希望により午後5時まで)	午後5時~午後6時まで 午前8時30分から午後5時まで(保護者の就労状況により午後7時まで)	原則、午前8時30分~午後5時まで(希望により、午後6時まで。ただし八名川・毛利は午後5時まで)	[4月~9月]午前8時30分~午後5時まで [10月~3月]午前8時30分~午後4時30分まで(希望により午後5時まで)		午前8時30分~午後5時まで(保護者の就労状況により午後6時まで) 土曜日は拠点方式で午前8時30分~午後5時まで
利用開始日(新1年生)	就労世帯児童:4月1日 上記以外の児童:入学式翌日	4月1日	就労世帯児童:4月1日 上記以外の児童:入学式翌日		4月1日	
活動スペース	活動時に、学校が使用していないスペース(図書室・会議室・多目的ルーム・ランチルーム・体育館・校庭等)	・収容対策で専用が困難な学校は、当面放課後に使用していないスペースをタイムシェアリング(*1)で1.5㎡を確保する。	活動時に、学校が使用していないスペース(図書室・会議室・多目的ルーム・ランチルーム・体育館・校庭等)		育成室(1.5㎡/児童一人)	
指導員の児童への関わり・児童の安全確認	・遊び・学習(知育・徳育・体育)の支援・安全管理 ・参加予定表及び参加カードによる出欠の確認 無断欠席の場合は連絡・確認を行う。	・遊び・学習(知育・徳育・体育)の支援・安全管理 ・家の中にいるような生活の場の提供 ・連絡帳等による出欠確認を行う。無断欠席の場合は連絡・確認を行う。	・遊び・学習の支援・安全管理 ・参加予定表及び参加カードによる出欠の確認 無断欠席の場合は連絡・確認を行う。		・家の中にいるような生活の場の提供 ・連絡帳等による出欠確認を行う。無断欠席の場合は連絡・確認を行う。	
職員配置	「江東きッズクラブ」全体を統括する主任指導員 1名 児童館長がエリア内放課後子どもプランの運営主任となる。 (当面は放課後支援課内で指導にあたる。)		主任指導員 1名 指導員 2名 補助指導員 利用予定者が40名を超える場合、概ね20名の増加に対し1名配置 介助指導員 障害児対応に関わる加配		児童館併設学童クラブの場合 運営主任:児童館長 児童指導員または非常勤児童指導員:2名以上 児童45名以上の場合20名につき正規職員1名、状況に応じて非常勤指導員及び臨時職員を適宜配置 障害児対応について加配あり	
おやつ提供	なし	あり(実費負担1,500円/月)	なし		あり(実費負担1,500円/月)	
保護者負担額	・登録時参加費年額3,000円 ・保険料 実費負担	・育成料 午後6時までの利用4,000円/月 午後7時までの延長含む利用5,000円/月 ・保険料 実費負担	・登録時参加費年額3,000円 ・保険料 実費負担		・育成料 午後6時までの利用4,000円/月 ・保険料 実費負担	

事業目標												
地域のすべての子どもたちが、様々な遊びや行事を通して積極的にかわりあい、心身ともに健やかに成長していくことができる												
A 登録・B 登録合同事業												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
季節的行事	4月入学進級お祝い会			7・8月 夏休み行事			12月 クリスマス行事			2月 節分会		
	5月こどもの日行事			10月 秋まつり			1月 新年お楽しみ会					
	各校独自の行事を実施する											
日常活動	宿題+10分学習・10分読書				体育館遊び				校庭遊び			
	伝承遊び(コマ・けんだま・折り紙など)				ゲーム・ぬりえ・ブロック遊びなど							
月例行事	お誕生会 各校での知育・徳育・体育に関わる独自事業の実施											
その他連携活動など	児童館事業との連携			・児童館で実施している事業(おぼけやしき・秋まつりへの参加)へ希望者を募り参加する								
	地域との連携			・小学校への出前児童館に参加する ・町会、こども会等の行事に参加する ・地域の方を講師に招いての創作、文化活動などを実施する								
A 登録独自事業												
保護者へのアプローチ	年3回保護者会(内1回は安全講習会)・・・長期休業、年度末に保護者と運営スタッフの共通理解をもつために保護者会を開催するほか、秋に安全講習会を実施し、親子で防犯について学習する											
B 登録独自事業												
集団づくり	班活動・・・班編成、班の仕事(役割分担)、班単位での製作や遊びなどを通して、支えあえる仲間作りを行う 集団遊び指導・・・集団遊びを通して社会性を身につけられるように指導する											
おやつ	おやつタイム・・・補食としてのおやつの時間を設ける。お誕生日のリクエストおやつなど、くつろぎ、たのしめるように工夫する											
校外活動	夏休み観劇会への参加(夏休み)・・・より良い文化に触れる機会を持つ 合同ドッジボール大会への参加(3月)・・・集団活動の集大成の場として、支えあい、励ましあって大会を楽しむ											
保護者へのアプローチ	年3回 保護者会(4月・7月・3月)・・・年度当初、長期休業、年度末に行い、保護者と運営スタッフの共通理解をもつ 年1回(必要であれば随時)個人面談・・・こどもの様子について共通認識を持つとともに、家庭環境を把握するなど、健全育成に役立てる											

児童館利用状況の推移



	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
乳幼児	71655	69626	80560	85678	84810
小学生	330979	323660	339554	346084	352487
中学生	36395	28169	25310	27681	27591
保護者等	63792	65481	76529	86550	84578
合計	502821	486936	521953	545993	549466
開館日数	257	255	265	266	265
開館日数備考			東陽改築	辰巳改修	亀二改築 大二改修

学童クラブの状況

登録数：平成21年4月1日現在

	クラブ名	所在地		育成室	入会可能数	登録数	土曜日登録数	児童館名
1	深川（公設民営）	高橋14-6	深川北子ども家庭支援センター内	156㎡	104名	44名	23名	1 森下
2	元加賀	白河4-3-19	元加賀小学校内	128	86	72		
3	平野（公設民営）	平野1-2-3	平野児童館内	164	109	107		2 平野
4	古石場	古石場1-11-11	古石場児童館内 ----- 同上（暫定）	68 60	86	61		3 古石場
5	平久	木場1-3-6	平久小学校北側向	152	102	67		
6	越中島	越中島3-6-38	越中島小学校校庭内	123	90	86		
7	塩浜	塩浜2-8-29-101	トミンハイム塩浜2丁目第1内	62	44	30		4 塩浜
8	枝川	枝川3-5-3	枝川小学校内	192	128	117	41	
9	潮見（公設民営）	潮見1-29-16	潮見一丁目都住内	100	67	47		5 豊洲
10	豊洲	豊洲4-10-4-111	豊洲児童館内 ----- 同上（暫定）	66 127	129	88		
11	豊洲三丁目（公設民営）	豊洲3-5-21-101	ロイヤルパークス豊洲内	120	80	75		
12	豊洲四丁目（公設民営）	豊洲4-11-20-137	スターコート豊洲内	94	63	65		
13	東雲（公設民営）	東雲2-4-4-102	東雲児童館内	118	88	82		
14	東雲第二（公設民営）	東雲1-9-13-102	東雲キャナルコートCODAN内	66	44	36		6 東雲
15	東雲第三（公設民営）	東雲2-7-3	トミンタワー東雲内	66	44	36		
16	辰巳	辰巳1-1-36	辰巳児童館内	162	108	88		7 辰巳
17	千田	千田21-18	千田児童館内	181	121	53		8 千田
18	毛利	毛利2-2-2	毛利小学校校庭内	69	48	25		9 児童会館
	毛利2	住吉1-9-8	児童会館内（暫定）	128	86	50		
19	東陽	東陽5-16-13	東陽児童館内	103	69	63		10 東陽
20	南陽	東陽2-1-14	南陽幼稚園内 ----- 南陽小学校内（暫定）	122 64	124	95		
21	亀戸（公設民営）	亀戸2-1-19	亀戸児童館内	110	74	84		
22	香取	亀戸4-26-22	香取小学校内	192	128	54	14	12 亀戸第二
23	亀戸第三	亀戸7-39-9	亀戸第三児童館内	75	55	48		13 亀戸第三
24	浅間豎川（公設民営）	亀戸9-34-1-141	亀戸レジデンス内	178	118	73		
25	大島第二	大島4-5-1	総合区民センター内	162	108	76		14 大島第二
26	大島四丁目（公設民営）	大島4-1-37	大島子ども家庭支援センター内	125	84	22		
27	北砂一丁目	北砂1-3-33	北砂小学校隣	100	67	70		
28	大島七丁目	大島7-28-1-104	大島児童館内	140	94	43	19	15 大島
29	大島五丁目 * H21.4より休室中	大島5-17-15-107	大島五丁目都住内	63	44	0		
30	大島六丁目	大島6-1-7-106	大島六丁目公園内	77	52	19		
31	第四大島	大島6-7-8	第四大島小学校内	136	91	85		
32	大島八丁目（公設民営）	大島8-28-5-109	ライオンスタワー大島内	76	51	44		
33	大島九丁目（公設民営）	大島9-6-17	新築都営住宅敷地内	220	146	45		
34	小名木川	北砂5-20-5-101	小名木川児童館内	168	112	79		
35	砂町	北砂4-13-23	砂町小学校内 ----- 同上（暫定）	104 64	112	91		16 小名木川
36	亀高	北砂5-20-16	亀高小学校内	64	44	35		
37	東砂	東砂7-15-3	東砂児童館内 ----- 同上（暫定）	117 79	131	101		17 東砂
38	北砂七丁目	北砂7-7-1-101	北砂七丁目公園内	113	88	27	27	
39	第五砂町	南砂3-14	(仮)第五砂町小学校仮設校舎内	110	99	104	18	
40	東砂第二	東砂2-13-13	東砂第二児童館内	84	56	18		18 東砂第二
41	東砂第三	東砂2-12-14	東砂小学校内 ----- 同上（暫定）	128 32	107	48		
42	第七砂町	東砂3-21-5	第七砂町小学校内 ----- 同上（暫定）	159 23	121	114		
43	南砂	南砂2-3-17	南砂児童館内	116	88	71		
44	南砂第二	南砂2-3-21	南砂小学校内	101	68	55		19 南砂
45	南砂六丁目	南砂6-5-2-101	南砂六丁目都住内	167	112	98	27	
合 計					4,070	2,891	169	

< 参考 >

- ・南砂第二学童クラブ：平成21年7月から12月まで（予定）校舎の耐震補強工事のため、仮校舎内に移転予定
- ・第五砂町学童クラブ：第五砂町小学校改築のため、平成22年3月（予定）まで同小学校仮設校舎で実施

江東区放課後子どもプラン推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 放課後子どもプラン(以下「子どもプラン」という。)に関する課題について調査検討し、子どもプランの事業計画の策定及び放課後支援事業(以下「事業」という。)の運営に資するため、江東区放課後子どもプラン推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の事項について調査検討する。

- (1) 子どもプランの事業計画に関すること。
- (2) 事業の安全管理及び広報活動の方策に関すること。
- (3) 事業実施後の検証及び評価に関すること。
- (4) その他事業の運営に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

- 2 委員長は、教育長をもって充てる。
- 3 副委員長は、教育委員会事務局次長及び教育推進担当部長をもって充てる。
- 4 委員は、別表に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 5 委員の任期は、委嘱の日から当該年度末日までとする。

(運営)

第4条 委員長は、必要に応じて委員会を招集し、会務を総理する。

- 2 委員長は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、教育委員会事務局放課後支援課において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が別に定める。

別表（第3条関係）

委員	学識経験者 2名以内
	連合町会長 1名
	民生・児童委員協議会会長
	民生・児童委員協議会子育て支援部会長
	学童クラブ関係者 2名以内
	小学校校長会会長
	放課後子ども教室事業実施小学校校長 2名以内
	青少年委員会会長
	小学校PTA連合会会長
	放課後子ども教室事業実施小学校PTA関係者 2名以内

江東区放課後子どもプラン策定会議設置要綱

(設置)

第1条 放課後等のこどもたちの安全で健やかな居場所及び留守家庭に代わる生活の場所づくりを推進するため、江東区放課後子どもプラン策定会議（以下「策定会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 放課後子どもプランの事業計画の策定に関すること。
- (2) 放課後子どもプランの事業内容の検討に関すること。
- (3) 放課後子どもプランの運営事業者に関すること。
- (4) その他放課後子どもプランに関すること。

(構成)

第3条 策定会議は、別表に掲げる会員をもって構成する。

(会長及び副会長)

第4条 策定会議に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、策定会議を代表し、会を統括する。
- 3 会長は、教育長をもって充て、副会長は教育委員会事務局次長及び教育推進担当部長をもって充てる。

(招集)

第5条 策定会議は、会長が必要に応じて招集し、主宰する。

- 2 会長は、必要に応じて、会員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(作業部会)

第6条 策定会議の下に作業部会を置く。

- 2 作業部会は、策定会議に提案する事案について、あらかじめ調査し、検討するものとする。
- 3 作業部会長は、放課後支援課長をもって充て、作業部会の構成員を指名する。
- 4 作業部会長は、必要に応じて作業部会を招集し、会務を総理する。

(庶務)

第7条 策定会議の庶務は、教育委員会事務局放課後支援課において処理するものとする。

別表(第3条関係)

会 長	教育長
副会長	教育委員会事務局次長
副会長	教育推進担当部長
会 員	政策経営部長
会 員	福祉推進担当部長
会 員	子ども生活部長
会 員	企画課長
会 員	障害者福祉課長
会 員	児童課長
会 員	庶務課長
会 員	学務課長
会 員	指導室長
会 員	学校支援課長
会 員	放課後支援課長
会 員	江東図書館長
会 員	教育施設整備担当課長